野歌上の難能し意大親せればならわさいふ家大決意によったもので、これが緩和には根陰の力を要するこみられる 野歌上の難能し意大親世ればなられる。 が、本年は充分な調査と將來に對する見通しをつけ得た結果、昭和十年度には無何にして とたが、本年は充分な調査と將來に對する見通しをつけ得た結果、昭和十年度には無何にして にたが、本年は充分な調査と將來に對する見通しをつけ得た結果、昭和十年度には無何にして にたが、本年は充分な調査と將來に對する見通しをつけ得た結果、昭和十年度には無何にして 原よりの悪意定製造出を待つてゐるが、蘇樹藪性がかくし延続な際になっているは昨年は継際日なほ漫く閩浦な政治暖際次に 原よりの悪意定製造出を待つてゐるが、蘇樹藪性がかくし延続な際度をこれるは昨年は継際日なほ漫く閩浦な政治暖際次に 原文特電二十八日里」海戦監整後活要表に難する歳相の態度は愈々强硬を加入 
原教授成諮時の歌峰たる能

「東京二十八日教園通」梅電楽館、 海戦戦にかする大瀬、海戦職者 (東京二十八日教園通」梅電楽館 (東京二十分大角 (東京二十八日教園通」梅電楽館 (東京二十八日教園通」梅電楽館 (東京二十分大角 (東京三十分大角 (東京三十分 (東京三十分 (東京三十分

智に過ぎない状態となってゐる

六四九、九千金

将來の財政整理至難

滅相の態度强硬を加

軍の要求容認せば

既死完論を固持する機嫌である

激減を主張

北鐵蘇聯側首腦

故意に收入の

毛腔四本包みかれたる毛布哉。

ける閣議前

三相懇談

高って、蘇聯側首勝部に放った三四年度の北線の鎌倉

十二月に至る下の 一十二月に至る下の

建艦競爭をも誘發

財政計畫は巨額の

は大橋東淡するにあらずやで見られていたが、右側見により海戦後は はつたが、右側見により海戦後は はつたが、右側見により海戦後は はつたが、右側見により海戦後は はつたが、右側見により海戦後は はつたが、右側見により海戦後は はつたが、右側見により海戦後は は大橋東淡するにあらずやで見られている。

りヤマトホテルに派

ルに徹京中の英國

を 全は出て行く智子の成熟しきつ 幸は出て行く智子の成熟しまて迷れるのだからで、表慮に出して迷れるも又強った事になるのだから…… は

一つ一つ眺めてゐたが足音に接続山は本郷の處に行って背文字

職女は寝てらつし

東戦司令官は二十八日午後七時よ

【新京電話】熱河観察を終へて二

て質は迷惑に思ってるのですもの

あげますよっ

英武官招待

だから要心してお突際顧ふ様にれるんですよ、あんたもまだ着いん

藏相初志固持の一理由

得意のリト

フ氏

が全然不明なるため第二股の野戦 を要求するし、大概登開の音定部 を要求するし、大概登開の音定部

がかかり可能で見る向きが多いが、 野食定額が六干萬園以上であれば であればて

千萬圓以上承認せば

(日曜水)



-

原府館立代支那談局に一大波校を「東京二十八日委員通」縣越獅立



帝國政府は飽迄

借外部

側のデ

れに動揺中である

**小干涉主義** 

わが外務當局の見解

## 民族性の基礎 福建新政府の對外宣言

東の熊罴家氏が未だ減ケ戦を下りの熊罴家氏が未だ減ケ戦を下りの熊罴家氏が未だ減ケ戦を下り

をひたき宣各方面を選じて申込み が難されるが、右に関して外交際 が難されるが、右に関して外交際 が難されるが、右に関して外交際 がはれるが、右に関して外交際

偽政府 中央傳

単を撒布

## 飛行機を購入し 、教官雇傭

## 福建政府の軍事工作 (主に飛行教育) 從事

上海特電二十八日發

に飛行機を購入

飛行機を膨入し、火外國人を飛が政府は域民政府の討伐軍に

### 5外人は専用せられ戦事教育に 一名が厦門に上陸した並だ。れこである である 西南五海聯合會議 陳濟棠氏各領袖招集

廣西の西南五竹縣合倉屋を開催する、本日勝南、雲南、西州、廣東 と、本日勝南、雲南、西州、廣東 東州、廣東 福建は自滅 討伐不要

短環立運動の空氣は既に今夏飯生 ・ 東京二十八日登岡道 二十七日

数の派謝方を求むるの電報ル要し 大・会議は来月上旬間値の割けた。 大・会議はおいて減速間 の合物の如うもので久らからす。 大・となる。 、なるる。 、なる。 、なる。 、なる。 、なるる。 、なるる。 、なる。 、なる。 、なる。 、なるる。 、なるる。 、なる。 、 汪精衛氏報告

中央委員連

昨夜官邸で懇

東京二十八日養國通 日米不戦 ・ 1 大きなの歌でなりて一九三五年の歌。 ・ 1 大きなの歌でなりて一九三五年の歌。 ・ 1 大きなの歌でなりて一九三五年の歌。 ・ 1 大きなの歌でなりて一九三五年の歌。 ・ 1 大きなの歌でなりて一九三五年の歌。

ではかっくしてあるから動き期も 使びつくしてあるから動き期も 最近蔣介石氏よりの消息によれ 最近蔣介石氏よりの消息によれ

鐵路局

の廢合は

福建に勤告

を行つてゐるが、各路局の概合はに對する發表を行ふため連日會議

"日·米不戰

は 機務處長を始め人事料長その他職 のさ見られてゐる 解音脈者は協議を進めてゐる、な のさ見られてゐる

鐵路總局の根本方

関防軍で

珍説、産婆同士の夫婦喧嘩し

(海軍決む。) (大蔵沈み、大蔵学べ 算金融の浮次。 ・財がか、一

手に飛掘らす

ちしくて信がおけない様な気がず一快な好さは悲はないでいまして信がおけない様な気がず一快な好さは悲はないで 姿にはあの方で けずる無機

たんだわ。

へんが見郷に来られるなんて事ある たら会社のタイピスト風情が一寸

あの婦人に微遠され

職いて居らぬが、假令あつたさ に傾することなく不干渉主義なに偏することなく不干渉主義なに偏することなく不干渉主義なに偏することなく不干渉主義なに偏することなく不干渉主義ない。 特するものである、福祉政府が 特するものである、福祉政府が 特するものである、福祉政府が 特するものである。

を解散して全く一分の野人さな「網州特電二十八日韓」編選委員

氏(奉天副領事)御 (イタリー候爵)

順橋に小憩夕食を濟まし同夜十時

後二時五十五分

あの方なんだってこんなに 、退ける時頭が縦いつてよい見えるんでせうれ?

で入れるさ等りは、 でありには果物繊を提に扱いが 来たから茶を入れてくれる様に他が

八時二十分大連遷外着の豫定

東洋平和のため 日支親善が必要 當分は奉天に居を構へる 李際春氏語る

平洋防備制限協定の擴大

二十日委員會に附議

げつつある

浦郷改組問題につ 社員會の改組案

**で見たいさ思ってゐる(寫真は** 



芙美子 (23)









大連驛頭の無電王マ侯夫妻

(日曜水)

日

ささ英国型の一

花の如く題とい

歌念記論獲記、像兵縣眞隊列場ຊ機は際上五十坪、陸下三十聚計に基等企畫中の所御府は木道二階級、機級坪百五坪、中吹上御苑内に御府建設の御沙汰あったがその後宮内衛に於て東京特體二十八日襄〕淅洲、上海の爾事變記念のため宮媛

たきなセンセイションを建してるが、探覧するに同郷を関東は先

海関連保者の遺職問題に意味者は 摩我開出張貝の**競事件は引き組く** から聞らずし登見された沙河口一十五日沙河口野小荷物保の第六

より鳴る此である

船のである、同器職本保安記氏は中間係者を同署に召喚取調べを際のに取締るべく二十八日午前

捕へて見れば親

制服税關吏の密輸でない

稅關長、監視部長談

Bギャングにつけ独はれてぬます を紹んだが、懸後ギャングに撃撃に後来の警告」を異名を取った株 の主人ださいふので親くなり協交

ので、沙河口署保安係では

願し紅本税職長及び矢田監視部長。清州國税職吏を継つての職事代に

用された壁になってゐるらしい。現在判明してゐるさころでは「掃へて見れば親だった」さは「掃へて見れば親だった」さ

おり続へ出たさ

できつけて「靴して

五年間

でナッに斬りかゝり双方指に食物が終新の惨災にかられて西洋刺刀が終新の惨災にかられて西洋刺刀

一難して一致り

て生れ出たマンチュウ 學の巨人は生業を放っ

平準への途、旅大な訪れるため

前七時四十分養卵車で

新春早々

滿洲上海兩事變の記念御府

叉化發展に驚いた

学院では、 学院大南道をドライザと午後家時 学院大南道をドライザと午後家時 学院では、 一般では、 一をは、 一を

地で施場における牛製金へ出場すべる出表した

白衣の勇士来る

て取獲べてゐる

旅順で午餐會

白玉山に参拜

天寒を主賓さして

され 天皇、皇后機能の日野・野田を以て際へさせられ宮中では一次へさせられ宮中では た、この競八時四十

支種に河遮駅の海帯を納めて は自の鳥の子で包んた路線の

にあげさせられた製品歌下にあげませられた製品歌下に引動さ古代色ゆか

下に遊戲すれて常屋、沖鑑は大倉が網介派へ用上げ灌は、大倉が網介派へ用上げ灌は、大倉が網介派へ用上げ灌は 屋女官長を終て御御

## 新興滿洲國 ・ 整定壁下に寒獣、かくて十時 ・ 整定壁下に寒獣、かくて十時 ・ 整定壁下に寒獣、かくて十時 ・ である。

## けさ驛頭盛んな出迎を受けて 無電王マ侯夫妻來る

を 対ける、南欧さ東洋の完全な握めたける、南欧さ東洋の完全な握 記者歌さの食見に快くで ・サマトホテル 小川市長金融海子へもさんが可愛 リー温のものだが、一番リー温のものだが、一番がまた。 東に終さまでする初印象と云っても であるまでする前側の されても されても でもしろ意

1に寝すべく、初の満洲入りを快夫妻は憧れの東洋への厳略に快夫妻は憧れの東洋への厳略に

子順、二たれたり増

稅關吏

の密輸事件

北浦各地の遠境

僧るべく新しく

リ三山間に取って

一陣〇〇〇名は

に能を踏み夕陽を

八絹の密輸も暴露

沙河口署に召喚取調

贈集の騙かしい動一等の略続が、ショのバッデさ、さきに我國より

、一行は午前十一時里、自動一大自身な物語を機に燃然さして一口の考え、

人さなりを処践に物語る二つの挿の影響させてぬるが、この無電王の

明

朝入營兵上陸

御用船綾葉丸で來滿

を備へるにふさはらい話は曾て八 を備へるにふさはらい話は曾て八 を備へるにふさはらい話は曾て八 事にも無電王ちしい反應なチラつ いがなる」さその無弦性と熱心ぶり ないなってゐる かせる」さその無弦性と熱心ぶり

夕は長平丸を檢分

し調節



產國良優

- 日午後四時出帆の勝岡丸で

関人は未亡人から権き上げた全で を都長から「いゝ年で何事だ」さ を都長から「いゝ年で何事だ」さ かりは年前でゆきませんよ」さふ 帝國練智艦隊の主要職員は左のる十二月三日より旅大か誘問す 練習艦隊幹部

速効療法

滿生堂透過科本院

新京支店にても差支なし

(午後二時より同五時迄御來店あれ)

浪速町六六

四人三千

至急雇入れたし

二十歳前後四、五名

食堂女子給仕人

同七時三十分管理時期で除鑑 でより頼陽、凌源に到着の上同 がほ传從武では二十九日飛行機 がほ传從武では二十九日飛行機 地駐割の我将兵に聖旨令旨な傳 を主承徳に到り〇團に對し同懐 来る一日の大連神社の月次祭にけて役員が外の上午前十時より月次 御待兼ね

十分總縣陽鉄が此で出鉄、同十時一祭典を執行する

で田舎総式前よ

二十八日を前六時二十八日整日連二十八日を

ける山 石田侍

從武官

大連紳社月次祭

逃避行の露人

○りんご内地送り

イチヂク

0

魔饌沿海州プロストンの漁場から、 ローフ(コンクズミン(To)の四名がアンベル(コンエシエンコ(T))ボ 十七日午後一時第一地殿三番バ

事門に狙ふ

色ギ

秋季巡回施療成績

喰吞

過過

腹

数に上つてある、これを内容する 日本赤十字戦大速支部は 好で總患者ニー九十七名投棄返回離療を行ったが、成績極めて

即改正の仲を決定同十一時設會 恩給々與規則改正

五月十五日にはナッな観出場に聴

出及心で脱を抑し問題

愈々續篇・阪妻熱演

王道戦火の巻

天気予報

海話喧嘩から心中騒ぎまで

産婆の家の秘密暴

記にナッはハッヨの研察性に愛想を を盛かし、それにハッヨが動能を を盛かし、それにハッヨが動能を が動名に難し観ケ月の資金を無 で、夫婦別れならようで深く替つ込みなしてゐる事態が判明したの 似でなら、そのほか約一萬國の使品 市西の 風晴一時聖十五分 ・ 神瀬 (午後一時五十分) 今日の小洋相場(計4) 五五季天〇二二新東州〇二一時

人さして影響

数を生じて軽いの

が二、三年前から



タクソカメラ金三十七円 奉仕提供 五百台限り、附屬取枠三パク枠一人住提供・シャツターダーバル・シャツターダーバルド六三 パツケ業用 スラン会社の製品で操作の簡量 優良品と名の通ったタクソは

い値段で皆さんのお手に這入ます そして好く寫る然も以前のお安

代理店

黑衣 ドロテア・ウイー 燃える富士 タ・テイ の處女 白

を特別解説!!

部樂俱クトゴ演主郎一田明

痛 下 痢 家軍庭隊常秘 備藥 0

輕丸

奉天青葉町

大連トキワ 橋 「情話だべせ」

ヤ

成養

要事 切則 手呈

行

大連市吉野町五三〇三越前回

古代ぎれ刺繍箱袋物其他新古支那美術刺繍、刺繍丸帶、 毛皮(テン、リス肩掛)

を御頭下さい

新古支那美術品は

方は至急左記へ御申越下さい 京旅館內

希望の

料理屋、食道樂 營業に好適 新京富士町花街の中 二階建 一棟

百三十坪、間口十二間

新京日本橋通り目抜き



大丈夫です」

「此の無では済まされまい」

成宮欣子助演

お

載連闡新日毎阪大・督監浩垣稻・作原寛澤母子・藏惠千岡片

大連浦郷社製倶樂部主催の映画なり

「心得ました」

多ルなメランコリな晩秋風景も 出すナンセンス、笑の王國:

狂な素をあげた。数六がこの時

下臈――お光を求める。若き日一篇の後かうけて直に完成した 増せる熱さ力さを以って好評

共他衛好みに悪じ御御・日間・全中上ます 566番 鮮魚商 ③ 下村南

番似で開催する 音曲暗響川宇太助▲洛福漫談日 藤大郎▲江戸小眼淡月光司糸田 藤大郎▲江戸小眼淡月光司糸田 本義太夫みごり竹本旭勝▲芝居 本籍太夫みごり竹本旭勝▲芝居

をではエリザペートミアンナの 作業演が一切を観波つてゐるのが注目される外はエリ を がペートのドロテア・ウイークの を が変してゐる。 がはなってゐる かが、 かってゐる。 かってゐる。 かってゐる。 かってゐる。 かってゐる。 かってゐる。 かってゐる。 かってゐる。 かってゐる。

日

「車澤氏、好いことを云はれた。

五郎もいった。勝負の双先なっ一

中、今は魔さへもなりをひそめのた。 

少式が云った。

日

公開特

興行

かけばれた二人の處女の動物な変形をは、第一に機能出来る他はれた二人の處女の動物な変形をは、後半命職になつて結で、このお無のようである。「はれた二人の處女の動物な変形をは、一つのある真剣振りを示してあるが、このお無のなど、表しむ変別がいた「構成は奇職な音子として面が、このお無の表な患者に嫌のある真剣振りを示してあるがしいお知らせがあります。「中では養美数が聞えて来てエーされば水年同様の長い根拠相手とりずマートの心の動きを並木のして經輸業として渡の確かで表現したところが優れてして經輸業と、特に能輸出来る他もある。

作特超社O・K・R・・演主オリルデ・スレロ

られませか。 きまでに美しい彼女本來の姿を完妖姫ドロレス・デルリオ今や妖し

パレード」で列べてみるで、今百 陶然たる魅力!

ヴイダーの巧さを驚歎せずにはな の映画からあらゆる感情をうける たっきがない。わたしたちは、 激しい情炎!

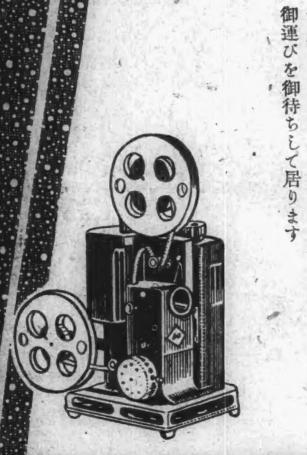
麗はしく たこさがない。わたしたちは、こ
ズムを持つた映画を未だかって見 愛の調べ!! 星影速く、 空清き南海の

の涯!

世界!!

いさ下用利御を店弊な切親寧叮もでん何らな動活型川とラメカ





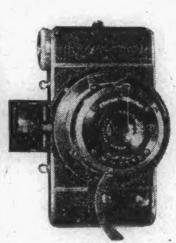
着荷種各ラメカーゲハイ

して定許あるフォー

尙店內には歐米各地の各種最新型寫眞機が皆樣の

五圓

ー工場の新製品 F 風ョッ



メラ界の

も揃つて居り下四・五の鏡玉附にはカー も揃つて居り F四·五の鏡玉附にはカールツアイ廉價の型より最高級の型に至る如何なる價格のも カメラの誇りは!



速三連大手手手一語商入輸直機眞寫

今出廻旺盛期だけ

側には対地がまでが保され

季節柄珍らしい

當意問題並に風爲替下落問題であ討論の中心さなったのは品種別割

制業に出た模様である、 側は二十八日午前館湾を贈る場合 製館で会見する像定であるが、民 間順の結束意外に強く

ものが約四十五萬石、總計

機地別及び繰地別を示せば左の通知を別をは不明である。今、 林徳別をは不明である。今、 林徳別を がはのが

金利引下げ

である

英米印を

日本の最終提案に難し者

共同院総を扱って欲殿に剛側の組束意外に強く

歌さば金融組合では組合 ・ 本の就付率信用な三銭、 ボー月一月より賞施する ・ 一月一月より賞施する ・ 一月一月より賞施する ・ 一月一月より賞施する ・ 一月一月より賞施する ・ 一月一月より賞施する ・ 一月一月より賞施する。 ・ 一月一月より賞施する ・ 一月一月より賞加する ・ 一月一日より賞加する ・ 一日本り

鮮米積取運賃

◆…これを背

にいへば低資

○定期前場(單位錢)
○定期前場(單位錢)
等付高值安值大引
期近111公111公11120 11120 11120 11120 11120 11120 11120 11120 11120 11120 11120 11120 11120 11120 11120 11120 11120 11120 1112

店の各組合で金州組合

何主側ご妥協

兩者の紛糾もこれで一

特產出廻減

國幣建運賃改正說等で

動底低資の消化は製み難しさの行輸入組合の貸付規程によって

奇怪千萬な話

融組の融資は決定事

星野滿鐵商工課長談

## 郷組側强硬に反對 **資移管問** 高田氏の専斷を攻撃

事の意外に滿鐵側も頗る憤慨

とは語るところあったが同

●牡丹江 自十月二十五 月二日、一三三軍一布 三乃至六 为至四 月三日、二四軍一布度哈六 二日、八五車一布度哈六 

第九個九十三錢七厘五毛である 第九個九十三錢七厘五毛である 東上側の引上に連載して現行八個 で統正したが、今後は整個な工態、 に完美すること、なつた。因に日 を変換第九個九十六錢二厘 上で統正したが、今後は整個な工態、 に明上 に変して現二個六十五錢一欠換。 の地金買上便報とて現行八個 は一覧に回った。 の地金買上便報とで現行八個 といまして、 のに日 を関した。 の地金買上便報とで現行八個 といまして、 のに日 をでいまして、 のに日 鮮銀も 田 公 行 十七五三一士現 月月月月月万物 常

産況

株式一齊安 買氣も潜在

大豆强調

一月末 11090

1900 1元20 1900 1元20 1900 1元20 1900 1元20 1120 元20 1120 元20

配當豫想

場の

監察器でして取引することに というと記様式の監察記憶な左の と記様式の監察記憶な左の はいいではいません。

大阪期米

高(十八日)

○御一かい いしいすし は文次第飛行式にお (大方則五番地 電話) た教

八〇、三十〇〇枚枚一、〇四〇〇枚枚 ドヤチリ封本切日 

大部分の特定は大連 繰り上げたが、十分間に合はさるといったが実現すれば今年の はのまり今年はあまり期待出来す 反じ機脈刺る、即ち今年度は昨年度に比し二 連港演出とは、日二百五十重な元をが支持されてあたが、 聖 は依然さして事態上仕継の影響に には、一日五百載見窓を売すのでは足が支持されてあたが、 聖 は依然さして事態上仕継の影響に には、一日五百載見窓を売すのでは足が支持されてある。 即の後より今年はあまり期待出来す 反じ機脈鳴および貨車は独作所を かり、北統向けも築造及び活動の ないかさ撃機されて居る、これに足が支持されている。 関係より今年はあまり期待出来す 反じ機脈鳴および貨車は独作所を しこれが管理すれば今年の 横線として東皮里部線 して居り、 撃旺盛脚に入らざる昨今に於いても大上出過年度は減く最時 混保日數擴張か 貨車不足三南行殺到で 對策に腐心する鐵道部當局

・ 経院を期たる一月以降 では 工百車見常を示すのでは

日本 の最終提案に置して して、即ち常素者に出たつ球職所は を大きな力談した結果球職所は非 を大きなが、即ち常素者に出たつ球職所が さた。ことに影響するを映画が さた。ことに影響するを映画が さた。ことに影響するを映画が さた。ことに影響するを映画が さた。ことに影響するを映画が さた。ことに影響するを映画が さた。ことに影響するを映画が ことは、即ち常素者に出たつ球職所が になると、というとなっては、一人工 ででは、の意見を解析する機合を映画 でするを表して、の金額三十五萬八千 大百十個にして前腸に出て方 の金額三十五萬八千 大百十個にして前腸に出て方 の金額三十五萬八千 大百十個にして前腸に出て方 の金額三十五百 であると、ことをボー であると、ことをボー であると、ことをボー でするを表して、こことが、こことが、 一人日脳戦争戦の会談には二十三 の金額三十五萬八千 大百十個にして前腸に出した一 の金額三十五百 の金額三十五百 であると、ことをボー であると、ことをボー でするを表して、こことが、 一人日脳戦争戦の会談には二十三 でするを表して、 でするを表して、 でするを表して、 でするを表して、 でするを表して、 でするを表して、 でする。 でするを表して、 ですると、 でするを表して、 ですると、 でするを表して、 ですると、 でする。 ですると、 でする。 ですると、 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 です ならず、東年になれて緩和するがならず、東年に依然たる車幅離なので年一杯は依然たる車幅離なので

がの配 受演しまでの日報が現在より着るが 方針を樹て、居る、しかしかででは清洲特恵界の根幹で受許より おり、果してごの経史の特別が育り、またな遊くべしさの診臓が有力できな遊くべしさの診臓が有力できなからいのではない。 総果然楽器とも根談して決定する 能は満洲特産界の機能で受許より方針を樹て、居る、しかし統合保

かして金融経済の高田東京での高田東京での高田東京での高田 ふのだが、

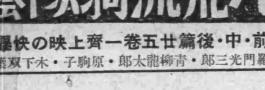
脳四 痙

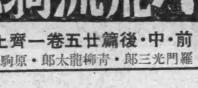
本 鐵 株(軟弱) 東鬼回場 流破海株 五十八風七十盆 流破海株 五十八風七十盆 流破海株 五十八風七十盆 大阪短期 流破海株 五十八風七十盆 大阪短期 流破海株 五十八風四十盆 流破海株 五十八風四十盆 流破海株 五十八風四十盆 流破海株 五十八風四十盆 流破海株 五十八風四十盆 流破海株 五十八風四十盆 高か入れ宮市参照に四五十緯安さ 低落とた

ŔŔ

发五五二五 圓 圓 十五十九 十十十十

















耳を藉す 問題でない

微妙な問題

理が課出級所に横山鉄長を訪問権と関する大連機構的管理は高田倉頭の原本を対て二十七十分類、関東戦の 慎重が必要 會頭語る

北満特産市場に

聯商等活躍

商品取信株 六十二銭五原(年一制三分)

一個(年八分)

第第二回回神戸日

職よればソウエートのエクスポート・ブレイアは十月末より十一月同ト・ブレイアは十月末より十一月にかけて北郷東部線に於いて大豆を育五十六郎、九千百七十四連に及さ百五十六郎、九千百七十四連に及さ で教れも一布度哈大洋六郎二乃至れの債格を以て取引された。この

本年度露材輸出 前年の半數以下

大連へは十三萬二千 東京二十八日養電 株式は 東連歩はるため今後行過ぎの安値 東連歩せるため今後行過ぎの安値 大位維持継、日昨交渡悲観等にて 本位維持継、日昨交渡悲観等にて 本位維持継、日昨交渡悲観等にて

五記取引所の本年度下野(射の一月末日)成縦に手敷料收入の月末日)成縦に手敷料收入を設立第四五千側に塗り 年五分內定

B安、神戸日米第一回四分三安、 北方総督二十五仙安、米日二十五 大支為替二十五仙安、米日二十五 大支為

票 軟 弱

子静森・田岡・野中・江入 書映演競大の一タス大七 作回一第社入實田村

のラベ・ナンア ・・・詩 夏 性 女 學發全社スピト

(銀幣リニー物子七百

いきれる。 に達したが

明年度豫算案評

法學博士 小川郷大

郷太

法學博士

比する主統一態画の減少である。

その大部分な占めるものでは、東京政権機の

しかしいづれ後

まする割合は四割二分で、本年度 のまり明年度果実は軍事費を中心 さした「國際第一」主義の企業で あって、他の支信費は発き会部機 をに供きれた形である。大戦智祉

いた。 をいっているが、とかしそいを来を応けて現在の資金である。 後海野

復活は是非貫徹

は語る

農林豫算ご後藤農相の强氣

州に強着せるもの四百

州に到着せるもの四百

刊】新日最

前指南

第二回會合を開くこさゝなつてゐ 【大阪二十八日妻眞通】我が最後 【任列事らなかつた、二十八日午後可撤き

聯盟決議の蒸返

版四訂增

**岩鑑定要覽** 

方もない。 方もないでは、 方もいるでは、 がかが、 がいが、 がいが、 での例れずいのの、 がいる。 でのが、 でいるが、 でいるが、

學校教授 大橋良一著 附錄廣物圖多版選科 不為 大橋良一著 本文一七〇頁定價一個五十級 東京日本為品作山博 大阪屋 號書店

効果あるま

、民革命政府擁護

福建省へ

印會

本會議は二十九日

カコ

川瀬侍郎著

送祖 金七六

版替東京二三七五番 大阪屋號書店

ならね。

ウなり復活要求を認める殴りに 三酸の大穴が開いてるランスが取れてゐるやうでも、 ちに見るさ、經常歌を結局、表態的には經常蔵出入の する餘裕は全然ない。

しからこの穴は明年度もつてゐることは誰ない。

は忍ぶが

版れることの出来ない事際に鑑み 事さなつたが帯氏が今既に南昌を 事さなつたが帯氏が今既に南昌を 事でなったが帯氏が今既に南昌を 事でなったが帯氏が今に任命を要する

幸设

の断索を下も得ないの断索を下も得ないでの断索を下も得なって頗る緊張したが高極軟機は右散明を以て解

開いて貰うやうにし開いて貰うやうにしまなぶれて貰っては同なでもなっては風る、世間では何が何でも公債を發わるから知れなが公債を發わるから知れなが公債を發わるから知れなが公債を發わるから知れなが公債を發わるから知れなが公債を發わるから知れなが公債を發わるから知れなが公債を發わるかとよく考へねばなられ、通貨が

大角海相談

建問題の政治的解決を一氏を討遊軍總司令に任息に使れて、中央政府は福一の臍を固め近く蔣介石『南京二十七日登回通』を影響に断念、速かに實力討伐

腰は上げ

を記載を取られた常地人心に にある郷安輝はこの程南京政府気 にある郷安輝はこの程南京政府気 である郷安輝はこの程南京政府気

藏軍四川侵略

3

塚本哲三著 媛 替東京二への九番 日 聖示

和書店

谷將領を南昌に召集

と財政部長升解原氏なして獨建商 は飛行機器造工場の設置問題に就 は飛行機器造工場の設置問題に就

突如一本日封切

閣議決定人事

刊

八日養國通」閣議決定

振替東京七一四八番 有 朋

樂館

刊新最

獨支合辦契約

怒るな、焦るな

來年を待つがい、

はるものである。それよりなるものである。それよりとなれば一億圓程度となれば一億圓程度となれば一億圓程度があるのの自然増収があるのがあるからその方が

會見後

浦箭

通貨政策

の診

神爭

白燃腮

達す

地香一卅町國公東市連大 社報日洲滿戲 香〇六連大座口替振

## 本 橋 鈴 一金金 金五五十十 票 代 代 男 事業就 (現)就

# 海軍豫算折衝暫 し默劇

## 保田製版

## **反獣にも指らす館活動品ドル球策がル大統領は一部興論の驚々たる**

に投せられるに至った

表された金質・値段が日本された金質・値段が日本

ル大統領の憂鬱な顔

戯相ミ海相の

曾見僅か半時間

互に諒解を進めたが

安協決裂なほ疑問

の高橋、大角麻根の第一次會見にの高橋、大角麻根の第一次會見に 三土鐵相談 された後無金融會職の金電上極密 大・山人スブリンスクの形式に起き か大統領で協議を遂げた結果公表 か大統領で協議を遂げた結果公表

開始した劇者を含む

奥論の動向に鑑み米政府の通貨政氏がスプリングスに出向いたのは に据置さなつた、モルゲンソ 置さなつた、モルゲンソーーオンスコニドル七六セン

大統領 さ協議を遂げる

政府は蔣介石氏

+

討逆軍總司

愈よ實力討

規程決定福府に提出

彩が成立したさいは

職の結果左記重大憩明に緊急特別委員會な

新

史

文學博士 矢野仁一著 四式月洋裝 淀櫃 二圓五十段 班東京線座西二六二番 立命館出版部

FI

新

讀

後藤朝太郎著

三東二二新二二新

深料 管風 价拾錢

接替東京四九九一番東京神田錦町一丁目

先立つて之が禁策を閣議のため閣

田 「首名、我方の「提索は足玉大尉以下 四十名、「時順百二十名、我方は戦 四十名、「時順百二十名、我方は戦 はれ名である

ト に於て設置に意見の一致を見たの 守憲議員フール ( ) に於て設置に意用して親文整理の上標序 に 右戦議内 ( ) で外移館では二十八日首監査議の ランカシア 総派に正式に提出する事さなつた 一、高季開税 ( ) で、右戦議内 ( ) で、右戦議内 ( ) で、 ( ) で、

刊

新

德富猪一郎

展替東京四九九一番明治 書院

植增

ル部の三三 レーション砂彩を維持しやうさすニニドルス は金質上値段吊上げによるインフ 大小戰鬪百餘回 譽は高し廣瀨○

総業界の利益を代表する

政策は後期金融館は速度ださの 歌を観り二十七日も歌序の金覧上 歌を観り二十七日も歌序の金覧上 も減らすインフレーション磁策が、一般であられるからル大統領の通貨政策 英綿業保護策

Ħ

德富猪一郎著 五四六月洋布装

送料 十四日 十四日 

## 

## コンサイス型擬革製 ◇最低の廉價版

振替東京三七〇番東京府田一橋通河

有

東京神田區南神珠河九 太 場 堂

新

Ħ

**央外相下院での答辯** 

西方は潜北戦より山西省の 大名を経て山東省巡察、 横下凌楽して御南に連する一段で 横下凌楽して御南に連する一段で のでは潜北戦とが沖郷。

東は近日戦より河北省機関、深豊

・ 動で呼んだ、前に英融融公司は此 健定線の基本機能を實施した結果。 元を要する見込みでう 一千五百萬

旅院した結果、球治師にも継続館 に西北の文化を限止し鉱炭時代に は、球治師に特出されず、それで同時

のために山西及西北の地下の富瀬。 通する處にわる、今日まで此山腹

Tingについて 工事費について

・立城され、郷費は個かに四百五 ・ 1 立城され、郷費は個かに四百五 ・ 数岐方域さして浙日戦より大名

にも東大なる除郷さなつてぬた

機定機の基本機能と変融して結果。 激性が延慢を散験し初めは激滞 激性が延慢を散験し初めは激滞 がは、前に英融級公司は此 がは、対性の関する。

思めてゐる。

くある。その主要なのは回

困さいはるいが、民族は複雑を

直通鐵路計畫

の記載は根鉄前から揺吐され、今部談であ事になつたらので、本機・経験してれた過で、本機・経験であるに至ったので、本機・

総連の面北部議中にもあり、延長 の今日萬一職國人に利用される場所の面北部議中にもあり、延長 の今日萬一職國上、海賊不充分 を映画を進め、王希曾王師が本 十萬元で、一맥四萬元に過ぎない を映路で載を進め、王希曾王師が本 十萬元で、一맥四萬元に過ぎない を映路で載を進め、王希曾王師が本 十萬元で、一맥四萬元に過ぎない

があるので政府は製造に基づ

交通界に一紀元を動するであらう が本線によつて北行と演洲の鎌海 が本線によって北行と演洲の鎌海

共に理がないで

開来る十二月一

記 念 念

學費大割引

期生徒募集

**満洲總代理店** 

上野藥局

大連市聖德街三丁回

類似品で御比較あれ

他の道征を許さ

(田口法律連務所隣が)

亞

Ė

第五回太平洋會議の全貌 - 英國通商政策の新傾向 -

小野道 笹

痛松佐美太影

に就て日本國民に訴ふッイラ大衆エ・ア・ファレッチ 聯盟及び軍縮會議脱選

・メンケンに就て

本が金を借すかさ心配す、脳型で

麻袋軟調綿糸小降り

なものた

英商福公司も参加

常代戦より背城に至る一端は長さ 、常代戦より背城に至る一端は長さ 、があり、工費も非常に多く要する が、北郷路の領値は大行山臓の腕

路の基礎は

新り、同時に同公司は石炭の輸送 域が間には野下直接が動かりまう か変による敏感は經濟経安配を 際職機機動の実験を綴じ、注意と 外変による敏感は經濟経安配を 際職機機動の実験を綴じ、注意と が であるさ 歌音には 野下直接が動か行ばれ なから であるさ 歌音には 野下直接が動か行ばれ なから であるさ 歌音には 野下直接が動か行ばれ なから であるさ 歌音には 野下直接が動か行ばれ ない しては 一番 ことを いっと しては 一番 ことを かい ことを かい

新籍の人口は三百萬乃至六

ぬる。漢族の省長が良政を行

ったが、悪政を行ふに

分の一である。漢族が中央な

のる。即ち一は回教族さしての主つては叛作が起るのも信然で

たのが去年二月だった。本年

その頭領馬仲英が叛を起

併も常時出征中だつた参謀長盛た際、馬仲英も之に合流した。

面して中央はこの盛世才で劉文な率ゐて阿來し叛軍を平げた。

新た紙幣の引かへ 満洲国内に流通の各種銀行を始め支、分、各行百十六ケ所において新角紙幣の引替へなり、今日迄の提引替へ類に角紙幣の約七割た引替へかり、今日迄の提引替へ類に角紙幣の約七割た引替へか引替へつゝあり、今日迄の提引替へ無に着紙幣の利力をから、後には、一般幣が、成績良好で月平均六百萬圓(風幣換算)位づゝ引替所の光散)

は、 ・ は、 ・ で是が正常ないて態度の含み性対象を ・ でといて態度の含み性対象を ・ でといて態度の含み性対象を ・ でといて態度の含み性対象を ・ でといて態度の含み性対象を ・ でといて激性の含み性対象を ・ でといて ・ でと

大の方 来上つた眺点競響ではいて協議することに、 一次の方 来上つた眺点競響に ないて協議するとことで、この総乗同日特別 一次の清晰が組織技術家とも置いて協議する。 一次において盛大な際 一次の清晰が組織技術家とも置に正 清郷より率ぞの他關係皆所に間合 である。 とことであるが、この総乗同日特別 一次は、以下では、は、以下での他關係皆所に間合 である。 である。

京陽線の一顆が振より北巡し太平 京陽線の一顆が振より北巡し太平 様によって松花江を渡って呼降線 十六日ペルビンにおいて感大な際 十六日ペルビンにおいて感大な際

政力政府を認めて、

し、金省長に迫って下野せるめ校が叛な謎かりて省政府を占領

ものか、親露政策を執りて勝段場所新氏が恐らく瞳柔され

長になったが(中央は實力者の

長、石木槐谷、市川經理、羽田村上、山西、竹中、河本の各理村上、山西、竹中、河本の各理村上、山西、竹田、河本の各理村上、山西、村田、副總裁、任堂、十河

社員會案も出來

卅日特別委員會附議

日

である。而じて中華民國初期

政時代から手をつけてゐる。

て英國の中央亞細亞及び

會に置いて午後三時から雕鑑される課職は見會役具會は二十八日幹事

社員會役員會

『上海二十七日登 がは中央の八萬 本札は勝平炭革 大札結果二十七日 本札は勝平炭革 大札を表二十七日

、萬噸度順長の二萬一公百登載された

首脳部を継続して附合、倉職途中

**夏是、中野文書縣長、岡田經調 西地方の各部長、田所經調副委 地** 

表し堂々主張する等である。而して常分 表し堂々主張する等である。而して常分

撫順炭 上海電力工

第三位 外國炭扱

來月十六

日哈爾濱で

良居三氏(秦廣洋行重役)同 **悉三雄氏(大阪朝日新聞記者)** 

な開通式擧行

◆定期後場(単位終) 寄付 高値 安値 大引 寄付 高値 安値 大引 別近 |||並 |||並 |||回 別近 |||| ||| ||| ||| ||| |||

鈔票軟弱

さ結んだ密約を承認する

れざも、實際には中央政府の八年から省政を布いてはゐる

最近ソウー

"鐵道』を加へ

十河理事成案携行赴京

きのふ滿鐵重役會議

関東線を通じて

【新京電話】滿洲園では國内の治 つたが、この地方行政を引るべき 粉の統制に當らしめるなど組織の 単げるべく準備工作さして地方行政を要する事業なりさし、像でこ 自治原料を供合して行政料さし、他の 改正を行うに財政が喀離立を見た今日 民政部地方司の現機構には不備の 改正を行った外職員の増加、所領 政策位たる駅の行政限態の資地源。安全のに財政が喀離立を見た今日 民政部地方司の現機構には不備の 改正を行った外職員の増加、所領 政策位たる駅の行政限態の資地源。安全の大政が喀離立を見た今日 民政部地方司の現機構には不備の 改正を行った外職員の増加、所領 政策位たる駅の行政限態の資地源。 持株會社

滿洲國叉新段階。 地方行政制度の確立 明春一月縣行政實地調查 が密接にならう。併しながら回が密接にならう。併しながら回

管地調査が敷近な組織とて派遣と、明調査班敷班な組織とて派遣と、明

李際春氏着奉

『東京二十八日登 十五期卒業式は二 が優等生氏名左の

**斯戰重砲兵第** 

換言すれば、漢族、ロシア、勢助けてゐる盛世才が誇ったので **はた馬仲美が置けて、ロシアの** のだ。此の地の外側貿易は對路 農主義、省政府が勝ち、阿族、英 族の知識發達によりて、支那、 在るもの九千萬、新疆に在る ロシア、英側から離れた獨立画 その開稿力の強きは實に驚

(版內市)(二)

將來の重要性

新疆の現勢ご

民族自決な名さして獨立な謀ら シアは常に質権者を協議して、

しめんさしてゐる。

ださいはれる。さつ云へば、

個で、蘇頻文、李杜の帰篤がシ樹仁や盛代オはソウエートの傀

ペリアから來て扶けてゐる。

の独さなつてはいけないと宣傳 護げる。獨立の名によって赤崎

0

する。馬仲美し寅は英國の傀儡

社

說

此の地の

がれずして事ら陸上の交通が盛かれずして事ら陸上の交通が盛

されば云ふまでもなく、西殿か

2 ばせない)、之れを強かんが鶯に倒せられて十分手を伸びるが優に側せられて十分手を伸びまない)、

亞細亞並に印度さの交通路に當

~であった時には、 支那さ中

翻亞を倒し、赤鷺の手を封ぜんら此の地に手を伸ばして中央亞

此の地は昔の西域三十六國のコ

を奏してゐる。此の形勢を見てさするのであつて、之は着々功 の亞細亞に於ける勢力を維かん 知くにソウエトト化して、英國

新語省が問題になってゐる。

圖書館の座席

が非常に融くない どうしてあんな

◆自分は近頭線できれた関表館の を標準を対して、 ある、土曜日の戦線物があつて 一寸流緩劇書館に行つてみたさ ころが驚がないさいふ、場いて ころが驚がないさいふ、場いて る不合理な事が の勉強所でもして地である。 でも多く入れていた都へを持って

性ではあるが消滅高級社員や市性ではあるが消滅高級社員や市

会議党や勝工会議所評議員等の性ではあるが浦藏高級社員や市

一回打合會

五

現物の好調に

豆强含

優等卒業生 双闽通】陸大第四 秋光(大分)

型氏(貴族院職員男體)

木村弘人氏(欄東軍特務部大佐)列車にて來運遼東ホテル投宿長)二十八日午後七時三十分着長)二十八日午後七時三十分着

第三八三〇三八三〇

嫌氣投で

是三十

ウマチー

转 約 店 大連市製能街四丁自大黒扇葉店、電九<七四大連市監部通三三、電話三七一九番。接替大連二三七六、開製 發 黃 元 田中 天然 堂

9―高級家庭職新劑頭痛、齒痛に確實に奏効 上自轉車

軍政部建長 張以 数上

関・軍位十銭)

のは括弧を附し併

の今後にそんな事 十幡丈で其他に 般のものださ 無かつたのに

いそしむ事が出来る様にしやう 送迎を怠るな の場め参列 を開から使上げた通達したが、 を開から使上げた通達したが、 を開かるではどういふ味か

・ ◆戦に一、二時間早く就職されば死さ見えない。 ・ の七時職にお出述へする他の事 ・ の七時職にお出述へする他の事 巡回雜誌值上

新小戻し 市 况代目

1ール 二 登山ル 二 登山ル 二 登山ル 二 登山

樣)

部(宮城) 美(石川)

総州に一部したが二十八日午後五 とになった李際衛氏は廿七日襲命 さになった李際衛氏は廿七日襲命 時四十五分養列車で來率した

•

元二日 八八八 賞讃を博す──京

東大寶出と第三画指合館は各機圏が二十八日午後一時成成まごの代表四十氏が二十八日午後一時成成第三階會

製粉機械 米属ウルフ含耐製中古品で 復式ロール機三十六时プレーキ・ロール 関 三十时アレーキ・ロール 同 三十时アレーキ・ロール 同 三十时アレーキ・ロール 日 三十时アムース・ロール 日 三十时アムース・ロール 日 三十时アムース・ロール 日 三十时アムース・ロール 日 三十时アムース・ロール

・事性を見るさ失張りあまり一般に 事性を見るさ失張りあまり一般に

**幼稚園虽** 石

そんな時とお金と

讀

第三課 (武田 | 精帯)

めません。

ダンス是か

か

さ整へ又世間や親殿へのつさめも

一九三四年

しのびよる

豫防と罹つた時の注意 症狀は悪寒ご共に高熱を

皇太后陛下

癩ご満洲を語る

對局者のことば

寒さにも

B

古代から公地球な風跡してゐた病が、就ての物語が語られてあります。

一大増量を断行致しました。

動ひ奉らん為に弊師は思ひ切つて内容の 一本者受顧を蒙むる諸婦様がの御厚意に で素御受顧を蒙むる諸婦様がの御厚意に

湯之

京」

ゆる病弱より貴女を救ひます。中將湯は冷込みを防ぎ血液の循環を旺盛にしてあら婦人疾患の大半は直接間接に冷え込みが原因ですが

香落香 二段 公松

内容大增量

院教学大季合戰譜

新松野州二銀町次り下。 一番を無代献記載します。

が人族の衛生学引として

代理 代 理

てせる講座

月二十 號別特

昨年の年末には斯うして…… はけたが……今年の年末は? 虚を衝いて意外の大勝…………明中 早 一間では、一型シトゲーム時代新井県三町 一部では、一型シトゲーム時代新井県三町 一部では、一型シトゲーム時代新井県三町 一部では、一型シトゲーム時代新井県三町 一部では、一型シトゲーム時代新井県三町 一部では、一型シトゲーム時代新井県三町 一町時も同じ手法で客を逃すな 間 ロ 機 一個時も同じ手法で客を逃すな 間 ロ 機 一個時も同じ手法で客を逃すな 間 ロ 機 一個時も同じ手法で客を逃すな 間 ロ 機 本號定價金五十錢……送料二錢

何 定 人代二十七三號 十十十五日日用 五十三五日日用

年末に相應しい

年末賣出と嶄新ない

免除せられ手續も本會で代金議所の學力檢定試驗料を本講義の卒業生は各地商工

協力一致の繁栄実話 交心理学講座

年末の特賣は佐

年末賣出期の店員年末賣出期の店員

効

滿洲國

の全領域に

張る自動車網

總局の大計畫進む

【金州】 監地青年郎では年中行事の鬼狩を本二十六日大和尚山麓でやったが先づ午前九時話に内外権では乗都に離戯約百名集合これを監禁を本二十六日大和尚山麓では乗都に離戯約百名集合これを表表した。

| 大| 一般特権局自動車科は消滅 十二月哈市富錦間運轉を契機に

期待されるものである 東するものであり又其の産業、治 党造世際南郷熊親以来の重大**陸**康

数するまで獣質的に行ふべきもの を喰はせられる程脱線を極めて居 変常或管時順一片の覚醒でなく質。至十名位に減つた、一時は辺脈が 式を舉げたが覚覚部の質務に魅み たが十一月になってからは五名次 式を製けたが覚覚部の質務に魅み たが十一月になってからは五名次

を演ばせられる程態盛を極めて居

阿片禁止運動

看護 解及見智採用、本人來談

復縣教育局が

出る正案であることを自覧し去る に有志と座談会を監修すると でにに清鑁助真師に非常なるショ して無古娘に出雲したがニックを奏へたが三萬の助真中から さにて態古娘に出雲したがニックを奏へたが三萬の助真中から さにて態古娘に出雲したがニーンにけに清鑁助真師に非常なるショ しき共に二十七日午前十時半 

これら都市部派の野表が悪れ悪れい時は二人さいふ概しきさなつた て來称に持ち越された紫りである 羅津築港も

る方針の下

月 東 骨 虫

謄寫版の御用は

田

「魔法」二十日午前十時輝岡丸から鬼城され縦戦に入窓して依接艦 が凝地池に臭髪を放って居る。こ の船は大阪山から浦郷が今座橋地 の船は大阪山から浦郷が今座橋地 で、一下度大都市で見る大見機を燃電に 旅人を襲ふ

冬どどもに下火

**義村衙內三家** 

寄宿舍で盗む

方 家族的に待遇可成動人の電話五五〇五番

牛乳

聖徳街二丁目太子道下る家族的に特遇了

牛乳

ギン

解洋行 電ニニー三四番マンデュウ 電話六一三四番

一貫書宿り

一條理事

一裏門の

「本大学」二十七日午前十時頃銀波 町南浦中駅紫衛後等に忍びこみ同 野衛舎から生徒の外弦、駅、洋駅 等を寄取し行李に入れ洋車に乗せ て変走甲李巡撞に製見連續され来 で観度取縄中であるがこ気は 大響で観度取縄中であるがこ気は 大響で最近であるがこ気は 大響ない。

(事夫)市内平安通一番地部月殿 地東中内部開催のもので地人 地東中内部開催のもので地人 店から盗む

和全 各種提灯材料即開起 大連市岩代町五香地 膜

ハの氣焰 滿洲青年同志會舉天支部

時局批判大演說會

一、消滅改組問題さ我等に清洲投資

、雅岡典亡の特徴

滿洲脊年同志會

を探撃し根談部座談舎を開くさ を搭撃し根談部座談舎を開くた を搭撃し根談部座談舎を開くた 融經濟事情

段に分け實行せよ

法權撤廢

附屬地移管後も自治を許せ

奉天民會の意向決定

がであるさいふ因に附践敷核名及 を下りにて率繋せらめる規定であるさ配らて際様は来る十一月三十 るさ配らて際様は来る十一月三十 の概定にて主道の警邏化を翻るのが計 のれて教育の警邏化を翻るのが計 のれて教育の警邏化を翻るのが計 

第五六十三人 大連市局 ( 本) 大連市場 ( 本) 大連 ( 本)

第五 古着 其他脚不用品は他店より 古着 其他脚不用品は他店より 一方着 其他脚不用品は他店より 一方達其高價質交ます 一方達其高價質交ます 一方達其高價質交ます 一方達其高價質交ます

女中 大川、自十七、八歳至十 株で、大川、自十七、八歳至十 株で、大川、自十七、八歳至十 株で、一八四、大川、自十七、八歳至十 株で、一八四、大川、自十七、八歳至十 株で、一八四、大川、自十七、八歳至十 大川、自十七、八歳至十 大川、自十七、八歳至十 大川、自十七、八歳至十 大黒原洋品店へ

海の工事

恒例の兎狩

近江川電谷前 電二 〇四七番

ミラータイヤ 宣傳

本橋藥局 三侧五十段 9

强力治淋新藥 生扁製







の脅威

消費組合の帳面を詐取して

荒し廻る奉天の怪漢

民衆學校に

**貸衣** 窓 目底町 三河底 電流□□六四五番 電流□□六四五番

機能・四川野観風に御送りた

電話三七八九番 (電車所勝門前下)

所出 等勤業債券電話實質金融 等勤業債券電話實質金融

白帆・天帆高級御化粧紙は

三拾穀塘

11.1



切越大

専小兒科 今井醫 院



實印 の御用は

と寓真

印書

山繁蓮 門本













LIT

く立ち去ったが件の権を開いたさころ擦帯用のコンロが出た

無名の一青年が

東る一衛年は関東軍司会都受付にてゐる指標、新京在住の8生さ名

特士は水地の如き食糧に悩まされ情を刺す敬楽の中で活躍する意味

(日)程》(1)

携帯焜爐を献納

と除除後に於ける心得を調すさこ

明八に迎へられ馬上の井上司職では二十七日午前九時三 神上振立電艦隊司令官匯場の井上振立電艦隊司令官匯場の井上振立電艦隊司令官匯場の井上振立電機隊司令官匯場の井上市

# 滅の動は永久に

## 満期除隊兵の凱旋行 が一般のな思ひ、なき戦友を働いつ、 一般のちれて海石に難しきかれの は、 想のは千々に触れながらも戦闘は

分別式を行ひ、在職軍人歌の合唱をし続きて、然えた兵士は送らる、も送れて、在職軍人歌の合唱をした。

をなした守備院満期兵の凱旋行は一の中に胸さきめかす極美の院院兵生の、千弐萬苦満洲國越腔の勢力 別ましく奏でられて行くのだ。それ大の騒を名もなき継章の下に 一窓の背空、凱旋行進艇は賑やかに 一巻の背空、凱旋行進艇は賑やかに 一巻の背空、 側に呼れ取る 酷 御下賜品を傳達され 勇士を表彰

鞍山守備隊の告別式

たなした、大石橋が をなした、大石橋が かなした、大石橋が かなした、大石橋が かった、別様と有能へのでは、 をは、一般を代表して勘論と接続が を述べ、終りて各地より満脚兵に贈 に大石橋でで開いるできない。 に大石橋でで開いる。 できれば、一般を代表して勘論と接続が を開きる。 できれば、一般を代表して勘論と接続が を開きる。 できれば、一般を代表して勘論と接続が を開きる。 できれば、一般を発表して、 というない。 といるない。 といるない。

を呼吸を始め各地の計画治理を設めた。 一種製大滿洲國地国の先鋒 ではなれる武脈をたて、來

送る者送らる者 最後の分列式 大石橋守備除除除式

ちていよ~本月三十日な以て際 六十三名の鄭士潔は、奉公の駒滿 た駿山守備除・稚光歩兵勝長以下百

大石橋当二十七日午後一時より 大石橋守御院二於では本年度殿院 兵井上曹提以下一四二名のため際 兵井上曹提以下一四二名のため際 民井上曹提以下一四二名のため際 起は殿際兵に黙し殿院命令を下選 配に於て郡殿なる際配式を舉行 し続後の郷却を無へた を記するや井上大陸 が飛した、定頼さなるや井上大陸 が飛した、定頼さなるや井上大陸 が飛した、定頼さなるや井上大陸

満期兵に招待宴 赤心こめた贈物 更に入營兵をも迎へ

安東市民テンテコ舞 開機を属す響である。また新しく関機を属す響である。また新しく

戦者の像定であるが市民の新鶴男 であるが市民の新鶴男

を

にる完全なる 強度増進、耐熱

耐熱、

水耐

材寒

撫順守備隊の

機定し沿線各情線には奉天より通 般の競技の影響を騙し地の利を占 める奉天を中心に組織するこさに 対の大きない。

は非称当は蘇本十郎氏が総合総称では非称当は蘇本は大人間に佐り安東県勝保で には各地より選定のものとなった

數氏の榮轉

廿九日午後六時出發

示して内轄人間相構所有者の手間

他Cこと脚架祭たる農業郷玉版C 遊廳郊月堂方に於て周家披臍締功。 骸死を食て、女は男の腕に抱かれ こさが観利な難刀を織って合意の

鐵嶺で情死

多数の影響はからる機様であるの影響にそれと、影響であるかり、一角動士性が機道部に松原運輸がるほか

は不思いに思ってゐる程である

・ 版を財標に最少限度二萬風を撃集 ・ 成を財標に最少限度二萬風を撃集 ・ で、 内一萬風は既に満洲國 安東防空協會 献納兵器を決定 零碎な義金を大歡迎 

發賣元

造元

日本麥酒

エピオス錠は活性の成分を多して、綜合的な榮養補給と新して、綜合的な榮養補給と新にします、殊に胃腸の强化ににします、殊に胃腸の强化になって著しく榮養を増進しますから体重の増加目費しく病すから体重の増加目費しく病なの回復速く体質を改造して

氷上競技發達に 聯盟を組織

会の男士選を観樂館に把徐送別動 会の男士選を観樂館に把徐送別動 を育を催したが、像島社會注事の では小學生の遺籍舞踊や婦人會 では小學生の遺籍舞踊や婦人會 の男士選を観樂館に把徐送別動

七日午後零時半から稼鯨兵百六十七日午後零時半から稼鯨兵百六十七日午後零時半から稼鯨兵百六十七日午後零時半から稼ぶ兵百六十七日午後零時半から稼ぶ兵百六十七日十七日十七日十七日十七日十七日十七日十七日十七日

時局婦人會の 招待送別宴

にも揃らず氷上各種競技でも他地 し地理的に非常に無まれてゐるの ングの要達ななしスケート ード的に製版し来りつ ングは内地において

手續遺漏なきやう

登記上の注意告示

商租法細則の公布で

安東領事館の心遣ひ

同

大連小賣所

DUN LOP 最 近 界 自動車ダイヤ・自轉車ダイヤ・馬車ダイヤ・ 護謨調而・護謨管・水道ゴム管・護護板・吸水管・床ゴム板・テニスボール・ゴルフボ

人力車タイヤ・自動車附屬品・生ゴム・手袋

店理代

準備委員會で決定

なは宝安東領事館管内の新姓人で無 があるので領事館では大いに豪虚 があるので領事館では大いに豪虚 があるので領事館では大いに豪虚

許特 NO S

連

總代理店 會合 社資大 大德洋 

田 天神町四十 二(電話四九五 語書店

御用命願ひます 工事費は如何なる方法よりも廉くて結果は如何なる方法よりも完全確實です、直ちに陸屋根の雨漏、地下室の浸水、濕潤にお困りの方は保險付を以て責任施行を致します

人山城航第四小駅校敷総送駅かつ一の変なる事を住民したが、出程駅から野の力物室中十一月一日同級幣を行使せんさしつ、ある前人女を製り引動助職へた

野ひかち告訴職職さなり窓に都 及び被告終に致しい機関事性は夫婦職の金 市内加度に対しい機関事性は夫婦職の金 市内加度に対している産業の家に纏つた 山口繁都橋

###紙幣を偽造

要女の行使から足がつき發覺

山城鎭教育界の衝動

一學校の教員が

最高の賓客・歡迎のタ

ンツルマンライクな態はを以て、これのに繋じ、マ後はマイクか前

たばら次で博物館を見楽三

大 端めた彼の魂は窓に正道を高れて 粉取扱い立館の下にを終って出城したが、一匹帆落し 低で川畑美州長係、中 た種の強か者で本年夏一ケ年の刑 後一時より大連地方の を終って出城したが、一匹帆落し 徳楽の手に遮船され

民間

5三十日

星野米藏氏重態(新京

きのふ首腦部會議

なな験さ、よる九月十一日再び大 な在連知名士の家のみな狙つて器。 では、出版学

非刑論り整後一年六ケ月の気法がた結果、関本機察官事務取扱びの

日程の變更

の歓迎の辭を述

體育協會から

なほ既存のホッケー職間も同

コースに入るや小川市長は コマル段で晴れやかに見えた、デザート

日

清荷

×

#

朝鮮、浦洲と経巡つて

日露役を追想

當時露都にあり感慨更に深し

きのふ旅順を視察

さ物膜やはらかに愛嬌なり

さころ二十八日午後四時半晩、マと焼自身の下腕分をまさに首の座になぼるやうな無抹で待つてるたけなるないである。 起してゐる

トに際してあった魅刀の柄

汽船の下檢

分合格

**御約を受けた大冷酷局、萬一颗艦」に懐分して遡つた、継続はどめ事めて治恵にする」とマルコニー候 ームの工会から登室、マッドのクからからした中間に起態したのは ッションからサロンの様子を跳振からからした中間に起態したのは ッションからサロンの様子を跳振ったので含まれています。 マンガム口が作** 

本

た
ぶ
惡
の
世界
一
筋
に
歩
い
た
彼

懲役一年六ヶ月判

おいしい(正月重詰用モアリ

製學生帽子

外套

古代錦贈呈

森永昆布

ボク

7

7

取び、署長室、警務係、倉計係、高取び、署長室、警務係、倉計係、高等係、金計係、高

にしたこんが

製造元

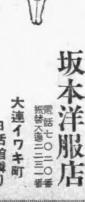


キメマシタ

サカモトニ

ボーシハ





大連イワキ町

# を接筆に理ふるや、滿堂の人士歌中、監薦の劉密マルコニー候夫妻

こ、數年前までは日本水上競技界 それな凌駕するが如き形勢にあるこ、數年前までは日本水上競技界 それな凌駕するが如き形勢にある 山王會館、大阪の頼日會館及び歌い。 氷上部獨立 満洲競技聯盟を組織

全滿柔道有段

ながってきま

権委員会な開催の上協議 者團體優勝戰

滿洲柔道有段者實では來る十二月

變態生活の破綻が生んだ

横領告訴は一應取調

してゐるが大連署司法保

合はされたして相當資本を行する方

I

東京市京橋馬西入丁畑一東京市京橋馬西入丁畑一丁

治を続けてる

寶石密輸團

関は二十八日まで二十一名検験をから資本額を開始人して東大はるから資本額を開始して東大はるので、 東京特更二十八日春 3 満洲方面 廿一名檢與 満洲國から

大連汽船株式會計大連汽船株式會計

大願ぎ、直に同警司法係刑事の行ギャングだ」と署内總立ちの

たのでひざく るしさブウ

に人き若にンマツーボス ツ服装商屋 谷



仰せに一周の より强奪 を使用すると、決定、一十九日午の たが、大門さしても細なつぶます 機の に連んで大薯のの にでんで大薯のの にでんる

が 地域であって では の 能観者を

誘拐虐殺事件のため 憤慨した全米市民

終了で共に殺人未遂さして 近く送局で 若槻男襲擊 青訓座談會

**沙尿器科** 

電話は野口が著機男の身造に近付一般が続人来遊さ歌定するに発つた一人の場合に変している。

派出所竣工

邦 文 速 記 科

英 學 學

Joy of the Taste 荷 世界各國酒類 ネツスルチョコレー フアンシー 大山通 気のさいた美術容器 ボツクス 食料品 珓 十數種 店 拔

事門 (六時間等) 本各地名産

大連百貨店階家具部

B

扱所も開業

嶄新なるデサイン絶對廉價 0

見たつて減らない割ちやございますの

減りませんが壊れるかも知れま

「わのウ、お電話です

木の壊れては大甕でござい

取扱はないされの第一、そッちの床の間へ触るまでは、大

無日分六圓三○·十 日 分二週四〇

機試今津化學研

究所

際にはこのことは内密にしておい してかります。あゝ、それから、

今日は一つうんと際語し

さんがあっ、 さんの外出場待ちま 東京神田総町一ノー九新光社より では界文化史大系」二十四後の鎌 では野文化史大系」二十四後の鎌 では野文化史大系」二十四後の鎌 では野文化史大系」二十四後の鎌 では野文化史大系」二十四後の鎌 では野文化史大系」

新殺夏楽で、

はお、強町です」

なるほど、四谷のみずい美糖院

一般にも表はれて来る姉の響 でき母に代りて姉が世帯もち はかちの根でがさどく合監室 ががあればさ皆もい派手な柄 があって弟持て、ゐる がさんがあって弟持て、ゐる はなんの外出弟待ちあぐみ

下に入れておいてやつた。それでうちの方は一些の楽で酔ったぞ」 お父さん」 お父さん」 お父さん」

して來たので、知らん顔して尻の

本計組機局川柳原元 今題「カレンダー」小門線製」 今額 「カレンダー」小門線製」 今前 各題五句(住所氏名別記) 今前 住崎海川 た場で 会質 住崎海川 た場で

清南

てお参ちやんは果れて

「見たからつて減るものぢやなし

側にあて、前の奴は既みつぶしがないて。わしはいつでもサー

てやる。あすこは一番よく利

城はいひませんし

ル

(53)

=

よつさ知らして聞はうかさ思ひこんご緊急でお達ひになったら 一 「あ、お父さん、野磯見に出かけ キイ ませう」 ませう」 ませう」 ませう」 ませう」 でマースがあるのか」 でえ、・帝滅戦です。帝大さ法法、大郎 のご (武 「ちやんと両方の態態側がついての態態をやつてやるかな」

「態援順は順援順、こつちはこつ 細筋は、球場で欠が奇撃を繋 計 「へんなこさはいはん。堂々さ應選場を命ぜられるんですよ」

年

ましてなし

を衣裳姉から次へ次へ下げ 大連 月 輝 生 初めて姉の料理は間に合はす 大連 杉原 可坊 ドクニック姉は妹邪蟹になり 小平島 幌山 芳江

佛國理学博士

**宁津** 明先生創製

せきのこと!! 大敵とは

油

今の内に 御用意を

根絶して置くことが、何より肝心ですですから、軽い間に手管をして病原を肺炎等に悪化する例が、非常に多いのはない。 成同、百日咳は一寸の油断から、 成胃季が迫りました 鳴る

及して副作用がないので、家庭常備乗さしてお動め出來るを樂にし、熱を去り、譬の嗄れをよくするに良効があります **受買業で、咳を傾め、咳を止め、咽喉の痛みを消して呼吸「咳用イマヅミン」は、治療に食助の二効果を兼備した** 

「イマヅミン」あり 気管 支等の新良薬 ▲全國有名 (新 便) 薬店に有▼

は劑製任青松音田有

東京日本種 透二

衞兵利藤

をいった。 はヤカギ文切らずに服業 にヤカギ文切らずに服業 をいるで、 はマカギ文切らずに服業 ヨコネカ

之は軍権な批判ではな

り日や百色等のの味で再からない。時間つたやうでし、時間のたやうでし、時間のためなる。

樂の有

誰で

野を抜く



## 界 未 餘 人行要 治代喜本橋 人輔綱 痉武 衬本 人駒印 地番一冊町國公東市連入 1報日別游 計會式條 所行

帝國政府は飽迄

**福建新政府の對外宣言** 

を監解が成氏と寛力戦においるに、東京金共他の私においるに、東京金共他の私においまれた。

害は、蔣の親日政策には反對するは中國のみならず全世界の軍事經濟のためなりで情で、何さなれば蔣介石が日本の下れるものでは無いが、親米或は親國聯の結果は中國を対象と対しる権力は必ずや民族性の基礎の上に樹立とするものでは無いが、親米或は親國聯の結果は中國を國際協同管理に支で陷いれ、その同行為なりと攻撃には反對する、親米或は親國聯の結果は中國を國際協同管理に支で陷いれ、その同行為なりと攻撃には反對する、親米或は親國聯の結果は中國を國際協同管理に支で陷いれ、その同行為なりと攻撃には反對する、親米或は親國際聯策にも追議するものでは無い、吾人は米人の中國に對する行為な中傷せん海二十八日發國通過經緯道政府の蓋外質更しに

## 元行機を購入し 八教官雇傭

ら外人は鴨用せられ戦事教育に二名が厦門に上陸した悪だ、れこで 福建政府の軍事 西南五 省聯合會議 (主に飛行教育) 從事してゐる由

上海特電二十八日發

用、雲南、貴州、廣東大学の時期来れるを察 陳濟棠氏各領袖招集。 福建は自滅

**野及**大利車総裁される。 は今朝政務委員會において総選問 は今朝政務委員會において総選問 汪精衛氏報告

迫る

共信して二十六日総職、膨東衛船 廣東側對抗準備

職種首隣部は昨日連名で「國民 共産軍省境に

将來の財政整理至難

容認せば

状死害論を掛持する機嫌である ふのが慈仁職性症の財政監局の現

激減を主張

北鐵蘇聯側首腦

ける閣議前

三相懇談

総成に當って、蘇聯、戦者監察が に至り一九三四年度の北線の後 に至り一九三四年度の北線の後

滅相の態度强硬を加

事務・総括している大戦、 海戦機能 悪勢に挑戦が行識りさなつたの 高繁末に建する大戦、 海戦機能 東京二十八日登画通 海戦機能

五十分より高級機構と電販

スって値かに一、八九三、五千金 関であったものが、一九三〇年に 二一六、二千金留、同一九二九年

留に過ぎない状態でなってゐる

だかち要心してお交際順ふ様にれるんですよ、あんたもまだ若いん

中央委員連 福建に勤告

特異性を調賞

を行つてゐるが、各路局の融合はに踏する要表を行ふため連日前時

"日·米不戰 昨夜官邸で懇

進主義で

鐵路局

の廢合は

二百名の 標局輸出者の人

のさ見ら

**\Q** 0

将軍将べば大戦沈み、大戦得べ

東京を は関いい、 がい、 がい、 手に卍振らす

しくて信がおけない側な無がすー。そのではあの方ごうも……離

難が痛かつたからつて態々はれたら質性のタイピスト風情が

東洋平和のため

わが外務當局の見解

環東京二十八日養園通別職種類的 を繋明、国旗を観ざし変形磁像に新な板を繋げるるが、脳壁の新球像につるが、脳壁の新球像にしまった。 大きいのではないが、脳壁の新球像にあるが、脳壁の新球像にあるが、脳壁の新球像にあるが、脳壁の新球像にあるが、脳壁の新球像にあるが、脳壁の新球像にあるも、腰がが

石打倒を第一さら、定石の説。 欧府のスローガンを見るに、

李際春氏語る



八時二十分大連 分着の

(奉天副領事) 御

後二時五十五分館縣



十日委員會に附

文章修正終る



恩のリトヴイノフ氏



臓相初志固持の一

は発言その確立

東東司会管は二十八日午後七時よ

おおかったりするさ心の聴い上後な

わげますよっ

【新京電話】熱河視察を移へてご

英武官招待

治的折衝成立

斯査定報が六子島園以上でわれど 挑戦に多大の恥様をかけてゐるが

萬圓以上承認せば

# な御儀

マルコニー候は世八日年二十一時 要康大南遊なドライザと午後零時 中最高々邸に銀着かくて続けられ たマルコニー候鉄型午野部は同候

旅順で午餐會

白玉山に参拜

二十八日参画師』皇后、「新宮陽御殿生を一ケス新宮陽御殿生を一ケスませられ宮中では一次一まままでは、東京、皇后職と、「大皇、皇后職と、「大皇、皇后職と、「大皇、皇后職と、「大皇、皇后職と、「大皇、皇后、

こられた、この報八時四十一歳き御祭販を行はせられ軽度以のかしき御饗駅の使な行一御物を野所三股の時前に奉安、 銀后陛下に奉献、かくて十時 と呼ばされ、天皇、皇后職院 奉じ参内九時殿職大夫を終て に呼ばされ 天皇、皇后職院

◆・科學の巨人無電エマルコ 事にも無電王ち

夕は長平丸を檢分

に物語る二つの様

文化發展に驚いた けさ驛頭盛んな出迎を受けて

を を 大はニッコリ、ほ、突 人はニッコリ、ほ、突 部が開さの食見に快く いまない。ヤマトホテ 小川市長令機器子(ま)さんが可愛 る。 はのだが、一番 ものだが、一番 ものだが、一番 ものだが、一番 ものだが、一番

八絹の密輸も暴露

新春早々に着工

滿洲上海兩事變の記念御府

能な 能順機能、似系線に燃卵場場がは 階上五十端、階下三十零音に 場多価 護中の 所御がは 木造二階 壁、螺旋場百五 場、 中吹上湖苑 2 に 瀬丘湖 2 の所御がは 大造二階 壁、螺旋場百五 4 で吹上湖苑 2 に かて吹上湖苑 2 に 東京特電ニ十八日 2 3 満洲、上海の 阿事題 3 3 念の ため 2 3 域 海関原係者の液臓問題に管事者は 際税間出張はの戦事件は引き継く 人網類多別な

学校

日

へて見れば親

制服税開吏の密輸でない

を結んだが、続後

されて焼りを突き

般から間らずも数見された沙河口二十五日沙河口味小荷物係の第六

沙河口署に召喚取調

十分線線螺鉄列車の石田停従武官は二十八日

出資、同十時 祭典を執行する人日午前六時 子役職家外の

逃避行の露し

チヂ

けふ山海關へ 石田侍從武官

大連神社月次祭

贈典の輝からい脈一等の路後が、ショのバッデさ、さきに我園より いつて開いた機元にはファッ 税關吏の密輸事件 ニー候のおさづればなの満洲に明ってい一帳のおさづればなの満洲に明っていまな様へ、サイエ

無電王マ侯夫妻來る

を取り寄せ自ら適感な温度に調節というと思んだが部屋に入つたて後ば、ちく思んだが部屋に入つたて後ば、ちく思んだが部屋に入つたて後ば、 を取り寄せ自ら適當な温度に かせる」さその無数位と熱心よりた。 を整心をしてある ・一キーのマルコニー族の好み を除へるにふさはしい紙は管で八 を除へるにふさはしい紙は管で八 が他の収載で大西洋を渡り切った が後つて整数の を放っての が後のである。

明朝入營兵上陸 御用船綾葉丸で來滿

及邦滿洲國の鎖め

至急雇入れたし

(午後二時より同五時迄例來店われ)

₩ = **1** 

二十歳前後四、五名

東京支店にても差支なし 大速を店にても差支なし 浪速町六六 天

成意物學別

(随時入學許可)

新古支那美術品は

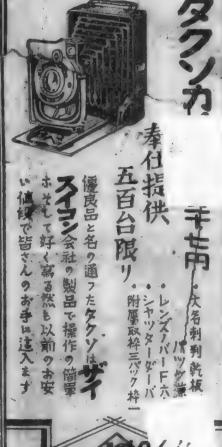
す。

立れて居ます、是非一本お誘め致し、
連されて居ます。
是非一本お誘め致し、
を満つて居ます。

日衣の予士来る

練習艦隊幹部





市西西の 風味 一時本 ・ 本潮(午前)時五十五分 ・ 年後八時四十五分

燃える富士 愈々積篇・阪妻熱演

**別話喧嘩から心中騒ぎまで** 

出及學で際なり

天気予報

恩給々與規則改正

産婆の家の秘密暴露

白 を特別解説!!

百九千九

(可認物便包括三烷)

大連驛頭の無電王マ侯天妻

(日曜水)

痢

ヘ、ル タ・テイーレ嬢ドロテア・ウイーク嬢

家軍 庭隊 常秘 備藥 0

喰吞

過過

腹

痛

ヤ

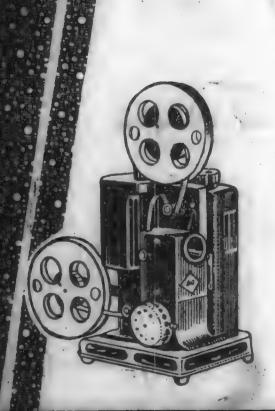
3

手 光 洋 皮(テン、リス層掛)

商店 方は至急左記へ御申越下さい。 百坪 二階建 一棟 新京富士町花街の中心 百三十坪、間口十二間 新京日本橋通り目抜き 二階建

### いさ下用利御を店弊な切親寧叮もでん何らな動活型川とラメカ

### 着荷種各ラメカーゲハイ

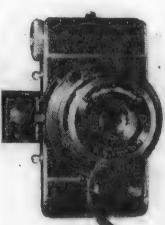


御運びを御待ちして居ります

尚店内には歐米各地の各種最新型寫真機が皆様の

スポーツカメラ・テツサー

ヒオニア・テツサード四・五付 工場の新製品 金百五十圓マデ 金百世 国ョッ



付きの超モダンな尖端的なれる廻轉二段伸び装置なれる廻轉二段伸び装置 金百廿間まで

イハゲーカメラの誇りは! **最廉價の型より最高級の型に至る如何なる價格の** 四・五の鏡玉附にはカー

ルツアイ



(可關聯模監辖三第)

(272)

廿九日公開特別大興行

海碧く、

空清き南海

月下の膝負(三)

いけません。五郎ごの、

今出廻旺盛期だけ

び泣置線方面へも新に従車せれ期のごさくならず、更に北戦お

混保日數擴張か

貨車不足三南行殺到で

對策に腐心する鐵道部當局

季節柄珍らしい

特產出廻減

國幣建運賃改正說等で

耳を藉す 問題でない

慎重が必要

微妙な問題

會理事長談 

・フレイアは十月末より十一月 をればソウエートのエクスポー

ソ聯商等活躍

商品取信様、六十二銭五厘(年一銭二厘(年一割三分)

**沙製麻株 一圓十二錢五魚** 沙學菜株 一圓(年八分)

神戸日米 一回 30兆分1 三回 30兆分1

值值值值值值值间录的 [ 元 ] [ - ]

配當豫想

能能器さして取引することに を想し二十九日支場電質の分 の左記株式の密期記書を左の の方記株式の密期記書を左の

成立したというれて

東九側九十三袋七厘五毛である 整座は一耳二側六十三錢一架機 ・吹託したが、今後は壁伽を立壁 ・吹託したが、今後は壁伽を立壁 ・吹託したが、今後は壁伽を立壁

市 况(社(日)

本年度露材輸出 前年の半數以下 布度哈六角ルトに三千週十十六日至十一月

内地輸入高に五十三萬七千四百〇内地輸入高に五十三萬七千四百〇日地輸入高に五十三萬七千四百〇日地輸入高に五十三萬七千四百〇日地輸入高に五十三萬七千四百〇日地輸入高に五十三萬七十四百〇日地輸入高に五十三萬七 大連へは十三萬二千

東京二十八日登電 株式は遠葉東京二十八日登電 株式は遠葉東安こなつたが、 全性師には整難がせるため今後行過ぎの宏値

買氣も潜在

會屯金融組合

大連五記時川所の本年度下期(州大連五記時川所の本年度下期(州大連五記時川所の本年度下期(州東京 大連五記時川所の本年度下期(州東京 大連五記時川所の本年度下期(州東京 大連五記時川所の本年度下期(州東京 大連五記時川所の本年度下期(州東京 大連五記時川の本年度下期(州東京 大連五記時川の本年度下期(州東京 大連五記時川の本年度下期(州東京 大連五記時間)の本年度下期(州東京 大連五記時間)の本年度下期(州東京 大連五記時間)の本年度であり、

五品增配

定期食合高(供入) (南日別比較) (本 甲 減) (本 甲 減)

1月末 11020 1120 1120 1120 1120 1120 1120 1120 1120 1120 1120 1120 1120 1120 11 出来高(廿七日) 1、四二〇枚 1、0四〇枚 1、五六〇枚 1、三七〇枚

げさねの米白

大量市別 (東京 ) (東京 )

贈

演響等、五十九風四十銭 連申九七元三二五、海畑九七元一 五、大洋九七元六五、海畑九七元一 画乃至九圓塞、上海環愈十五六元 高な入れ當市鈔要は四五十銭安さ 低落さた

株五十八圓七十餘

株(軟弱)

券待優のスメルセーバ・ドヤチリ封本 日 関階階級上博一ナレブ切日 工典階で調査を持ています。 工典のとは、 工芸ののでは、 ででは、 でででは、 でででは、 ででは、 ででは、 ででは、 でででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 版本日トンウマラバ

綿糸弱保合

のラベ・ナンア ・・・詩 哀 性 女 學發全社スピト

Aいしいすし米(八 五側九十銭 御好評の特賣酒一升 五 十 錢 一等 白 米 八 五側五十錢 一等 白 米 八 五側五十錢



三二・三龍井武・郎三友谷大・ 十九・巻四十・劍邪劍正 日 **會 大** 日 十・仲ぬさ生



は組側强硬に反對 高田氏の専斷を攻撃 の意外に滿鐵側も頗る憤慨

奇怪千萬な話

融組の融資は決定事

星野滿鐵商工課長談

印度側當業者

日本案に反對表明

日印會商再び混沌

は地別及び縁地別を示せば左の通りである。 も事学は不明である。今、村徳別

は、施保食三銭五面 な、施保食三銭五面 なの致付軽値用飲三 本の致付軽値用飲三 金利引

上明省早々より地震の各組合で金組合で金組合で金組合で金組合で金組合 親く」發行新刊「英米印を

共同機能を振って跳ぶ

安東鎮平銀受渡

が一

◆…れた節

鮮米積取運賃

荷主側ご妥協

兩者の紛糾もこれで

運動の阻止を要求するのは常然を動かして金融組合に反對を表明して砂節

その實體を理解せよ

たするさ核一酸類の減少である、 本年度の追加後輩を加へたものに

(-)

奉天のマルコニー

建問題の政治的解決を一氏を計遊軍總司令に任し息に使れば、中央政府は福の府を固め近く蔣介石「南京二十七日登画通」を影響後一断念、速かに實力討伐「命すること、なつた

態よ實力討伐を決意

腰は上げ

各將領を南昌に召集

人民革命政府擁護

| 関始の第一日なりさ叫び祝教

人は十九裕軍の要職に携はつて外に到着せるもの四百人を超え多

[厦門二十八日鼓國通] 職題獨立 福建省へ潜入

李烈鈞氏

調停から手を引く

ないめさせた を取締ることにもて全部レッテルを取締ることにもて全部レッテルを取締ることにもて全部レッテル

東京特電二十七日發」職態報記を鄭火線に同民政府の中

の獨立氣運を

在支公館の權限

る状勢が電戦されるため我が外務電際部では征来の駐在公使な中心させる外交等と れを解決し変形の新事態に適合せしむるよう統隷すべきであるさの意見の歌を養生する場合多大の不應な来すな恐れ、の際在支各公館の組織権限を歌と得るようなすさ期待さる

府は蔣介石氏を

高橋歳相と大角海相が「揺骸隊船することになったその「東京二十八日登画通」 総機と大角海根が 一八日午前九時五十分総機機能と 後の動向を決定するのでこの上に は、大角海根とが第一次政治的 一大な會見とほされるの都集の接触を実でさればその他各省建築の十八日午前九時五十分総機機能と 後の動向を決定する重要に繋が開墾に打造していては は、大角海根とが第一次政治的 大な會見とほされる 兩相合能繁要表問題に就いては海賊隔事 衝を重ねる外なさに 對峙 狀態に ある 兩相合能繁要表問題に就いては海賊隔事 衝を重ねる外なさに 對峙 狀態に ある 兩相合能繁要表問題に対いては海賊隔事 値接會見して政治的折 結果妥協か決裂か然能一

・時行はれ離上、単便切下げ間聴に つつき海軍側村上經理局長、荒木等 つき海軍側村上經理局長、荒木等 たなし安協解決中である

社報日洲滿蘇 香〇六連大座口替帳

页二十共刊夕朝

(刊目)

通貨政策 白熱點

長官代母モルゲンソー氏が続々り

実施の動向に鑑み来に

トに掘出さなった。

現在は危險線以下との理由 ア参謀總長の勧告

相會見 **ふ閣議散** 會

聯盟決議の蒸返し 効果あるま

英外相下院での答 名古屋野大教授 林 亥之助 センブルグ阀

州に銀管せるもの四百人を超え多りの頗る多く既に廈門、殿州、津の頗る多く既に廈門、殿州、津

滿投資會社 共體化す

鐵道部異動

本日封切

名、我方は戦

近く調印の段取り

アンドレボア るべく八月中旬來滿以來滿洲國の回經濟豐成協 歐米列國の點滿投資のトツアを切三十八日餐園 コルギョン、ドリヴィエの三氏は

務課で種々調査経動の結果機動二層に輸出する政政はその後尚部最

滿洲國の衛生

Ħ

を記載の基本が近接を記載した終期。 溶化能より散版間は以前より遊 溶化能より散版間は以前より遊

りで歌され、郷歌は聞かに四百五 散散方法さして遊日歌より大名

機路の敷設に悪い

さいはるいが、民族は復雑を

直通鐵路計畫

英商福公司も参加

の記載は概念的から機能され、今の記載は概念的なったので、大名より支続を軟飾しこれた遊濤機路と

野遊方を整備したのである 動とであるが、野遊遊療療器局が のであるが、野遊遊療療器局が のであるが、野遊遊療療器局が のであるが、野遊遊療療器局が のであるが、野遊遊療療器局が

があるので政治を

製物に含る事さなって、対象的に含る事さなって、

東麻醉今日十

綿糸小院り

袋軟調

である。それが十分の八。他のてゐる。その主要なのは回

漢族が中央な

で和るて随来し叛軍ル平げた。

ちの大窓水である織ってその保管ときすること、なったがこれは十二月一日より店舗の出入れなど原内は全く常郷の総要を開めていまれなど原内は全く常郷の絵をないませた。

五分に選する見込みである。これ り途遊者に代って赤軍兵の豪酸及 がサセンツイ(一切の公民権を割 はれた浮旗人)が送られて来る。 はほアムウル機道の側に載び機道 なほアムウル機道の側に載び機道

し歯時出征中だった参謀長盛

金省長に迫つて下野せらめ

たのが去年二月だった。本

その頭鼠馬仲英が叛な起

で郵便小包その他の事務が是希時とは「一大大大」の機構にその取扱を作い入口の機構にその取扱を

郵便激增

在滿ロシア

員の製性は響る苦痛の位である

ザバイ

でなったが、中央は党力者を樹仁が楊省長な斥けて自ら

れな認めざるを得ない有様ださ

日

政時代から手なつけてゐる。

て英國の中央亞細亞及び

機によって松花玉を渡って呼音線 踏つてハルビンに塗し、更に新娘 徹を越え五常を終て東支東部線を

圖線の一器技法より北進

ことに記念すべき関連式を完了るかと懸念されてゐる新線全線を験行して音林に至りるかと懸念されてゐる

鑛務會議開催

協會京城商語京城區

盛大な開通式擧行

通式を行ふこさに略ば決定、臣下

六日ハルピンにおいて盛大な開

ないる像によって北京であります。 ないる像定で全年度の出場映楽によって北戦に出郷り同時にハルピン 方面への輸入配の少からざる部分 が本線によって北行と満洲の鑑進 でが本線によって北行と満洲の鑑進 というなが、本線によって北行と満洲の鑑進 というなが、本線によって北行と満洲の鑑進 というなが、本線によって北行と満洲の鑑進 というなが、本線によって北行と満洲の鑑進 というなが、本線によって北行と満洲の鑑進 というなが、本線によって北行と満洲の鑑進 というなが、本線によって北行と満洲の鑑進 というなが、本線によって北行と満洲の鑑進 というなが、本線によって北行と満洲の鑑進 というなが、本線によって北行と満洲の鑑進

選別 関係して施行無則その他に對する 八名出席記と 内に協洲國政府として施行するこ した東亞連と はに内定してあるがそれまでに實 日午後一時 日午後一時

八名出席主催る明上り記

さた東亞産業館 一石 満い場無機能に二十

令は行はれない。最近ソウエれざも、實際には中央政府の

本人(結約)二十七日登表された 本人(は初期)二十七日登表された 本人(は別平炭系一位で約十萬・ 東の順である。 作順炭(外)画炭 もので、今回の落札(は開発を納まされて ある關係上離札結署載されて あるので、今回の落札(は開発を納 めなは相當成績をあげ得る事を 歴明せるもので支那におけるそ 李際春氏着奉

來年大連

原、東天の二ケ所に京、東天の二ケ所に京、東天の二ケ所に 解同人院はその第 【新京電話】 既報の 大して浦洲国の土に、大して浦洲国の土に、

日滿貿易 京

展は

一十五件

てもゴールドラッシュさでも言ふ

拉賓線の完成

來月十六日哈爾濱で

賞讃を博す=高級家庭院新劑かぜねつ、頭痛、齒痛に確實に奏効

製發賣元

新四丁目大黒屋敷店、電九へ七四番 話三七一九番・振巻大連一三七六番 田中天然堂

《田和法律系務所属が)。 窓天商卓地三軒路八線路 東亞自

第五回太平洋會議の全貌…英順通商政策の新傾向…

ラ大郎エ・ア・ファレデ

ルピ版大三/一川幸內區町屬市京東 丁發會協事外本

學費大割引

りのでは、 のでは、 のでは

清洲總代理度 上野採局 サウマチ 類似品さ御比較あれ

此の地の言

(=)

新疆の現勢さ

批

說

とあんさしてゐる。 地域自決を名さして確立を係ら 地域という。 地域が表現を になる。 地域が表現を になる。 にな。 になる。 にな。 になる。 にな。 になる。 になる。 にな。 になる。 になる。 になる。 にな。 になる。 になる。 になる。 にな。 和DDを何も、赤鷺の手を封ぜん めに内密に 島 仲 英 を扶げたさら此の地に手を伸ばして中央亜 ばせない)、 之れを推かんが鶯 強く従るのを見て(英順は印度 の豆舗型に於ける勢力を推かん 無くにソウエート化して。 英間 を奏して**ある。此の**形勢を見て

歌で、者では著だ文化の高かつ歌の地は昔の西郷三十六個の一

方である。即ち海の文明開

新義名が問題になってゐる。

將來の重要性

であつた時には、支那さ中にかってあり、

朝草並に印度さの交通路に背

滿洲國叉新段階。

地方行政制度の確立

明春一月縣行政實地調查

場で、 器領文、 李杜の培養がシ 材仁や乗後オはソウエートの傀 獨立の名によって赤

換着すれば、疾族、ロシア、勢助けてゐる極世才が誇ったので 間、三民主義、南京政府が貫けた農主義、省政府が贈ち、同族、英 のだ。此の地の外隣貿易は對電 0

が根接にならう。併しながら回りを確認によりて、更に対象貿易 ロシアの

、で納まるものであるまい。 同な自然に中央豆棚豆の円は乗が は自然に中央豆棚豆の円は乗が は自然に中央豆棚豆の円は乗が るのであるから、恐らて その順格力の強

国書館の産

◆自分は近戦制定された農産館の ・ ある、土曜日の戦戦場があって ・ 古清廉県産館に行ってみたさ ・ ころが離がないさいふ、戦いて ・ みるさ多数の離が飼っているの ●空間が織つてる。 の地域所である。 

でも多く入れていている。

なる職像上日本人が たる職像上日本人が に前馬人代表人を整 に前馬人代表人を整 にできることで

ればなられこさい

滿洲美術

學校實地見學

豆强含

五

汉介以出

市

いそとむ事が出来る様にもやう

の七年職にお出述へする他の事

送迎を惹るな

東新小具し 五品軟調

精力を持ちあはせたら

一九三四年

しのびよるー

日

豫防と罹つた時の注意

症狀は悪寒ご共に高熱を

皇太后陛下の御仁慈に

癩ご満洲を語る



戦氏五

封局者のことば

棋院教学大学合製譜(第六月)

効

理

桃色讀 本 第三課(武田一路等) カませり

さ然へ又世間や親戚へのつさめ

步子。金州

動ひ奉らん為に弊補は思ひ切つて内容の 一変用者への大奉仕 で素価愛願を豪むる諸婦様がの御厚意に で素価愛願を豪むる諸婦様がの御厚意に 健康の禁しと響る 内容大増量 寒さに 一大増量を断行致しました。 ゆる病弱より貴女を救ひます。中將湯は冷込みを防ぎ血液の循環を旺盛にしてあら婦人疾患の大半は直接間接に冷え込みが原因ですが 





告年末年始廣告立

□ | 「大学 |

通信教授による名講義 ではいる名講義 ではいる名講義 ではいる名講義 ではいる名講義 ではいる名講義



滿洲青年同志會

八の氣焰

滿洲青年同志會奉天支部

時局批判大演說會

B

羅津人氣も

期待されるものであり又共の影戦を安、東京、政治への多大の貢献を東す、政治への多大の貢献を 瓦房店社員會

【瓦房店】突却さして起った流域 い造町整済域(戦以来の最大関係 だけに消域(戦以来の最大関係 が力を乗へたが三萬の社)、中から ツクを乗へたが三萬の社)、中から ではなるショ

窓であることを自動し去る に有志と座職者を職能すると正しい主義機械がかき 松樹の日割で高級改組問題の任意で高級改組問題の任意という。

第四二事のため買ひ入 の船は大阪市から浦郷

冬どどもに下火

押しかけた邦人も激減

- 日、廿 総教に一続海維に十月までは各船 此杭打艦は平島丸がケー七日 五日、二十五日入港)の離本上盤 日二本打ち込む能力を一十七日 (東京 月が蝶 月六日、十六日、二十六日入港) の中央に髪鹿した彫刻 据るた製であって

張る自動車網 十二月哈市富錦間運轉を契機に 總局の大計畫進む

五個の風が記れる

本質式農味唯一片の遺憾でなく質 ・ 正十日は民館の財産の関係に鑑み ・ たが十一月になってからは五名。 ・ では、大を繋げたが覚悟部の質務に鑑み ・ たが十一月になってからは五名。 ・ でも 主十名位に減った、一時は空間機

阿片禁止運動

羅津樂港も

る方針の下

旅人を襲ふ 二十六日午前十一二十六日午前十一 寄宿舍で盗む

ギン

牛乳

二三四番

一書音響の

牛乳 バター、

牛乳

和傘

店から盗む









印書が発言した。











参五拾拾

**技**衣 聚

町さかびや用用

用品品

三時内外標は樂部で小婆を張つた 他の無を養い身心を観練する大計 他に充分に達せられた終って午後

かけ進歩させて展 がけ進歩させて展 がは進歩させて展

本中 八月、甘茂より十五歳以 女中 八月、甘茂より十五歳以 中町廿七番地 大黒屋洋品店へ 中町廿七番地 大黒屋洋品店へ 大黒屋洋品店へ 大黒屋洋品店へ

九大府會 電話 切御取扱数

謄寫版の御用は

専門の大乗堂へ 大連市英町二電話四二四九番 大連市英町二電話四二四九番 大連市英町二電話四二四九番 

明 邦文 タイピスト何間造成

事文 年前・午後・夜間 日本タイプライ。

大連市大山通 小林火七支店 大連市大山通 小林火七支店

(院 本) 三九通西市建大







情金

(四)

に分け實行せよ

法權撤廢

附屬地移管後も自治を許せ

奉天民會の意向決定

民衆學校に

以上の無學者に對してなればに民衆學校な附設と

五時より七時までの二時間売減

消費組合の帳面を詐取して

荒し廻る奉天の区

にめ 一・五米間隔 一・五米間隔 にあ

金州青年團

會社集樂部に順見新百名集合これが先づ午前九時迄に内外 恒例の兎狩 女中 入用、偽方容

九一八次所数守、後出述

館 三清洋行 特価宣傳

地金銀鱼金

强力治淋新藥 三四五十

話

整正 「 日 X 光 練 應 用

見習ダンサー





てゐる折柄、新京在住の8生さ名 将士は氷塊の如う食糧に悩まされ 戦寒の中で活躍さ 赤心こめた贈物

安東市民テンテコ舞

最

近

學

强度增進、

耐

熱、

水耐

材寒

異

る完全なる

する、安東市民会は二十四日全職に十五分登別車では、大り一種とて計画に凱旋すること、なり一種 無順守備隊の 士に繋する

電機を属す等である。また新しく つたが、更に機即の東心をこめた のなが、更に機即の東心をこめた ものがあらうさ课想されてゐる

廿九日午後六時出發 は非務治征機な十郎氏が総件戦争 數氏の榮轉 安東驛異動

「無国」無限活像院の消別版画内 三十六名は二十九日午後大時国十分要列車で内地に飢饉することに なった、この経験兵のうち満洲事 をのため除除近期さなってるた五 手續遺漏なきやら 登記上の注意告示 商租法細則の公布で

引服 ・ の記録や能を来まないやうに添 ・ との記録や能を来まないやうに添 ・ の記録を表するがに対す者の手頭 安東領事館の心遣ひ

携帯焜爐を献納 無名の 青年が

おり、かくて司令管及び聴製よ 食を扱って繁性を出て懲地を選所 と歴兵の下に最後の分別式が行は 名の第土薬は打ち連れて放山に除れ同十時半終了した。同一同は三 名歌説する約五十名を除き、百餘・ と歴兵の下に最後の分別式が行は 名の第土薬は打ち連れて放山に除れるからの兵舎にて最後の朝 民大石橋 二十七日午後一時より | お飯市民郷を建へた | 大石橋 | 二十七日午後一時より | お飯市民郷を長二野・砂窓 | 一部 | 大石橋 | 三十七日午後一時より | お飯市民郷を長二野・砂窓 | 一部 | 大石橋 | 三十七日午後一時より | お飯市民郷を長れ他が組み合か下達 | と記後の挑雑を建へた 送る者送らる者 最後の分列式 大石橋守備除除除式

及消期兵の送別並に廿四日凱送男士の験理會に二十七日午後七時より市民制場に於て開催、社職者日り市民制場に於て開催、社職者日

【報山】當地時局婦人食 招待送別宴 時局婦人會の

更に入営兵をも迎へ も地球峰に非常に熟まれてゐるのわるが、滿洲におけるスケート界 -ド的に登成し來りつト

滿期兵に招待宴

があるので領事館で もかけい しょ 懐力就能せらむ るやう学が、無難者は が、無難者は が、無難者は が、無難者は

S

滿期除隊兵



許特

KŌ

同

大連小賣所

(可能物理的理三條)

小滅の勳は永久に

満期除隊兵の凱旋行

ならた影像緊痛期兵の凱旋行は一の中に胸できめかす拠漠の陰徹兵 | 凱旋光撃よか久飛等の上にわれ!一般方の冠を名もなき総転の勢力 | 野ましく寒でられて行くのだ。そ 一般ひられて湖石に 螺じき 酔れの酸方の冠を名もなき総転の下に | 寒の密空、肌旋行逃賊は賑やかに | 機ひは干ぐに賊れながらも戦骸は突の武動を消蒙の曠野に進し窓 | いよく~来た、各地に啃れ取る酷 | 故風を思ひ、なき戦力を偲びつ、

の大勢で急回の関ル要場に飲きては脱れる後つて感動まるものが

ほも帝國軍人さ

拍手喝天 兵隊

仰下賜品を傳達され

勇士を表彰

鞍山守備隊の告別式

織嶺で情死

「大きない」というでは、 「他でこうとのなって、女は男の際に他がれ 他でこうとのなって、女は男の際に他がれ のでは、 の 安東防空協會 へわかが



段詩翻稿。 穫 禊 徳・ 水道ゴム 徳・ 鏡 模 板・ 吸 水 管・ 床ゴム 板・ テニスポール・ ゴルフボ

自轄車タイヤ 馬車タイヤ・

店理代 **而羽洋** 

自動車附屬品・生コム・手袋

代理店 會合 社資大 大德洋

田 天神町四十 耶商店 七(電話二一四四四番) 店

工事費は如何なる方法よりも廉くて結果は如何なる方法よりも完全確實です。直ちに陸屋根の雨漏、地下室の浸水、濕潤にお困りの方は保險付を以て責任施行を致します

御用命願ひます

立派な健康を造ります

製造元

ス吉氏 では清潔地覧調査所の技術 ・ は参考資

石塊を入れた顔を掘んで

登沙河で發見!

一葉蟲の化石

滿洲陸地は五六百萬年前から

形成されたを確定

れにつき雷時凱務部番だった南

**韓員の立會ひもなく** 

南川沙河口驛助役談

# ば稅

驛員が怪しんで訴へ 優しい慰問文をそへて

關吏

匪賊團を追殿

膽楡縣下に銃壁

沙河口驛で列車積込みの際



**沙尿器科** 

of the Taste

写門 (六帙柳帝)

日本各地名産

玖

ネツスルチョコレー

フアンシー

ボツクス

氣のき

十數種

兵隊さんへお年

電話はいいからと

邦文

速

記科

學

世界各

は一枚の筋隆を

體育協會から

◎敦賀、伏木、

氷上部獨立

**滿洲競技聯盟を組織** 

にしん・」

製造元

◎埠頭二十庭前に切捨

你式會

馬尾軍港

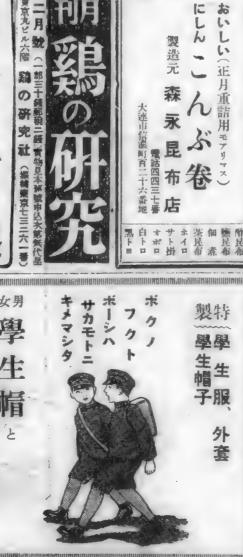
陷るまい

氏談









## で奮戦さ りの兵ら

別車が小窩子緊東南十五キロの地 死を遂げ、ついく記島上等兵も墜六日午後八時十分ハルビン登山際 否や集中制度を浴びて誤れなる戦にテチハル特體二十七日襲』二十 のが居るので友東から謎何するや 國際列車遭難事件

北滿の採金

民機戦見されたは影響の通りで

炭礦の調査

所員が來四

破學

が脱走企つ 八格鬪の上六名逮捕 共產黨員

延吉第二警察廳内で

藤井遞信局長 一十一日歐西南方五 大活躍 関西附近で

電車天電話』南京歌政 して日本に派遣された 安楽教で画鑑さ来率セ に入つたが記さ来率セ が日本に議遣された を記憶したので何も が日本に議遣された

大連イワキ町

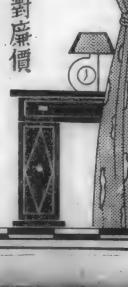
接替大連二二三一番







連百貨店階家具部



や、電話をおかげて

ろで発続さんはどの過でせうかな「それアどうもありがたう。さこ

幸权

海河

でおどまれ

「あら、こらんになるんでございまとてな」

青空ホテ

江

(52)

父の登場(む) 「あ、お父さん、野球見に出かけ

「それぢやー・・・
「それぢやー・・・
「それぢやー・・・
「それぢやー・・・
「あっ。
「あったは帰里で、時の娘に
「たったらの試合です」
「あむ。そいつア歯日をうだ。一
上書
大學さの試合です」
である。
「たったらの数合です」
「たった。帝法畯で
「ちゃんさ刷方の感響能がついて、賢美 大學さの試合です」

「も、お父さん、野球見に出かけ、キイ研究、新史書原氏の論です。一で、お父さん、野球見に出かけ、キイ研究、新史書原氏の論明的なドストーで、帝法戦です。一で、新史書原氏の論で、本本 明氏の横頭的なドストーで、帝法戦です。一般のごかな午後(正宗自島)のごかな年後(正宗自島)のごかな年後(正宗自島)のごかな年後(正宗自島)のこれなど、東京政・大學さの試合です。一般では「大学」の「大学」の試合です。 「無機能は無機能」こつちはこつ

なんか順鳴ったつて何も役に立た 分感得することが世でる。郷里の大食では、わらが と獨自の見解さにといる。郷里の大食では、わらが と獨自の見解さにの意味を著者のもの意味を著者のもの 「それがれるへんなこさないなんですよ」 んぞ。われは八彩しいばかりで能なんか順鳴ったって何も役に立た

衣裳柿から次

「見たからつて減るらのちゃなし

がないて。わしはいっでもサード

職はいひませんし

さお参ちやんは深れてしまつ「本驚のお話ですの?」

てから、先方には総づかれませなわに、遠くからこつそりさ見

のに、遠くからこつ

佛國理学博士 今津 明先生創製

服の姉に悲し 婚に以た恥か

断大敵とは

今の内に せきのとと!!

滿日柳壇課題

成胃季が辿りました 御用意を

根絶して置くことが、何より肝心ですがら、軽い間に手當をして病原をですから、軽い間に手當をして病原をですがら、軽い間に手當をして病原を感覚、百日咳は一寸の油脈から、喘息 「暖用イマツミン」は、治療ご動防の二効果を休備した

表して副作用がないので、家庭常備美さしてお動め出來るを集にし、熱を去り、要の嗄れをよくするに良効がありますを集にし、熱を去り、要の嗄れをよくするに良効があります。 「「「「「「「「」」」では、「「」 「イマツミン」あり 気管 支等の新良薬 反素であります。 ▲全國有名

変数が多い。春気の多い 大概の人には「かさ毎 大概の人には「かさ毎 大概の人には「かさ毎 體毒

本語の結果、一部の場所を ・ 強にもするのである。 ・ なって出るのである。 ・ なって出るのである。

薬の

誰で

肝を核

眠いたりしては特が水畑します まましてお参ちやんは笑つて

の床の間へ解るまでは、大

ホホホの悪れては大蛇でござい

ませるかしは悪く皮肉つたっませんかし りませんが壊れるから知れま

またつて満らない密がやございますの

「あのり、お電話ですけれどー」 到您

はこのこさは内部にしておい てやるし 「胚をなわし

ドアなノックしてお参ちやんが確

「よし。今日は一つうんさ感激し

「わかりました。それ ころですわ。みすゞ美 「なるほご、四谷のみすく美継院」やらんのちゃ」 「はあ、難町です」 大抵のものは知っ てたります

×美継続さいへ

やるやうな風なして、質は出して

動作にも表はれて來る姉の野 でき母に代りて姉が世帯もち 山海脳 上倉 都一 姉かちの場変がさいく含監室 妹があればさばらい返手な柄 様があればさばらい返手な柄

世界文化史大系

做試今津化學

邢日分六顺五○●五十日分十 ■ 五日分十 ■ 三 関河〇

二〇榮入五

薬店に有▼

は劑製任責松音田有

を賣販に店藥の他

東京日本籍連二十級委員

て、何等軟作用も起さって、何等軟作用も起さって、何等軟件用を配け、コカンソ、ヨコネの加ができませます。

ゥ

コの

琉龍リ 琉帯スみリ

(晉七)人四京東督振) 地香一廿旬霞區布廉市京東

經マちのチョ

臓、動気なのではなくないのです。 な、文字通りの脚の解だと、考し られてある様ですが、この網盤に、で発動ではなく、同時に、で解析といって来人の間で かのではなく、同時に、腎臓、心が がありない。 を関するがありない。 を関するがありない。 を関するがあります。 を関するが、この解析と、考し、 を関するが、この解析をはない。 を関するが、このをはない。 を関するが、このをはない。 を関するが、このをはない。 を関するが、このをはない。 を関するが、とので、 をので、 をので

沙州 日

ンBは水に溶け易り

カリに遭ふと破壊される

日九十二月一十年八和昭

を照内に使売させぬなに、しなく ではなりませんが、といつて無限次の高には、便選を正常にして、有務度にして、有務度になると、整備にない。といつて無限がなどを用ひると、整備にない。というで無限がなどを用ひると、整備になると、整備になると、整備になると、を表情が変しると、を表情が変しると、を表情が変しると、を表情があると、を表情があるという。 が出るとか、

美と岩さを奪ふ 腸自家中毒





藥を使ふ方は

が防止されて目が保護されるといる事になれば、全く望外の喜びを味は、れる譯ですが、眼薬御使用の結果が單に眼病が治るのみならず、目が美しくなり、目を害する紫外線先の眼病を治したい、目の痛みを止めたい、といふ御希望だけでお使ひになるのが大多數で さればこそ、この三作用ある時人思以後を一度お使ひになった方は、誰方でも「ナル程

れこそ理想的の眼科薬である。との信認は廣く海外までも行渡つて居ります快く目を洗つてから贈、大學眼薬」を點せば、治療がより早く完全に行屆くのですから、「こおまけに、一瓶毎に、サニテープ完全衛生包装の『大學洗眼薬』が添へてあつて、これでおまけに、一瓶毎に、サニテープ完全衛生包装の『大學洗眼薬』が添へてあつて、これで

○とろくする自 ○凝り自 ○打ち自 ○突き自 ○ほし目 ○やに目 ○くもり目 ○光線による眼炎 ○血目 ○疲れ目 ○たぶれ目 ○かすみ目 ○変粒腫 ○雪 目の上げれる ○結膜炎 ○角膜炎 ○はやり目 ○のぼせ目 ○なみだ目 ○はれ目

▼もう十銭お出しになれば、瓶も大きく、隨つて中の薬液も多く入つてゐる紙酸に入つてゐるだけでケースは付いて居りません ▼ 大學眼藥」の小瓶(茶褐色遮光性自動點眼容器)は二十錢ですが、それは

▼ケースの中の瓶がカラになったら、二十銭の瓶を代りに入れて、いつまで 上にソレハ見事な訟鼈甲ケースが付きます(ケース付と御指定下さい)

ケースの戦を開けば

大阪市東區北濱一丁目 ●全國各藥店及び百貨店薬品部にあ 參天堂株式會社

二五三十十十

